

平成23年

都産技研の利用に関する調査

アウトカム 評価報告書



平成24年4月

はじめに

地方独立行政法人東京都立産業技術研究センター（以下、「都産技研」という。）は、東京都立産業技術研究所から平成 18 年 4 月に全国の公設試験研究機関に先駆けて地方独立行政法人化し、今年度は設立 7 年目を迎えます。今後とも地方独立行政法人としてのメリットとスタンスを活かして、機動的かつ柔軟な事業運営を展開し、依頼試験、技術相談、機器利用、共同研究など様々な事業を通じて、企業の皆様に、より良い支援を提供してまいります。

都産技研をご利用頂いている企業の皆様のより一層のお役に立てるよう、ご利用に関する要望・意見などをお伺いする「都産技研の利用に関する調査」を実施いたしました。今回は 2,760 名の皆様にアンケートを依頼し、1,530 名からご回答を頂きました。

調査の結果は、都産技研の事業運営や支援方法の改善を図る資料として、大いに活用させていただきます。

調査にご理解とご協力を頂きました企業の皆様方に心より御礼申し上げますと共に、今後とも都産技研の一層のご利用をお願い申し上げます。

平成 24 年 4 月
地方独立行政法人
東京都立産業技術研究センター
理事長 片岡正俊

目 次

1. 調査の概要	1
1.1 調査目的	1
1.2 調査対象	1
1.3 調査方法	1
1.4 調査内容（調査用紙の項目）	1
1.5 回収結果	1
2. 調査結果の集計	2
2.1 設問『利用のきっかけについて』	2
2.2 設問『情報提供・広報活動について』	3
2.3 設問『事業の利用状況について』	4
2.3.1 平成 23 年に利用した事業の利用目的	4
2.3.2 平成 23 年に利用した事業の目的達成度	6
2.3.3 平成 23 年に利用した際の都産技研職員の対応	8
2.3.4 都産技研を利用したことによる経済効果	9
2.3.5 他機関の利用状況	13
2.4 設問『今後の利用意向・要望について』	18
2.4.1 都産技研への利用意向・要望	18
2.4.2 各事業への要望・期待	21
2.5 設問『会社及び対象者自身について』	23
3. 総括	24
3.1 利用者のご要望	24
3.2 今後の方向性	25
参考資料 平成 23 年ご利用に関するアンケート	26

1. 調査の概要

1.1 調査目的

東京都立産業技術研究センター（以下、「都産技研」という。）の利用企業等における、利用満足度やその活用実態、支援ニーズなどを把握し、都産技研の事業運営や支援方法に必要なデータを取得するために実施した。

1.2 調査対象

平成 23 年 1 月 1 日から平成 23 年 12 月 31 日までの間に、都産技研の各種事業を利用された企業等の社員の中から、個人情報の利用に同意頂いた方 2,760 名を今回の調査対象とした。

1.3 調査方法

配布方法：調査用紙を郵送にて対象者へ配布

回収方法：記入した調査用紙を郵送にて返送

期間：平成 24 年 2 月 6 日から平成 24 年 3 月 2 日までの 4 週間

1.4 調査内容（調査用紙の項目）

- (1) 利用のきっかけについて
- (2) 情報提供・広報活動について
- (3) 事業の利用状況について
 - 平成 23 年に利用した事業の利用目的
 - 平成 23 年に利用した事業の目的達成度
 - 平成 23 年に利用した際の都産技研職員の対応
 - 都産技研を利用したことによる経済効果
 - 他機関の利用状況
- (4) 今後の利用意向・要望について
 - 都産技研への利用意向・要望
 - 各事業への要望・期待
- (5) 会社及び対象者自身について

1.5 回収結果

1,530 名の方から回答を頂いた。(回収率 55.4%)

2. 調査結果の集計

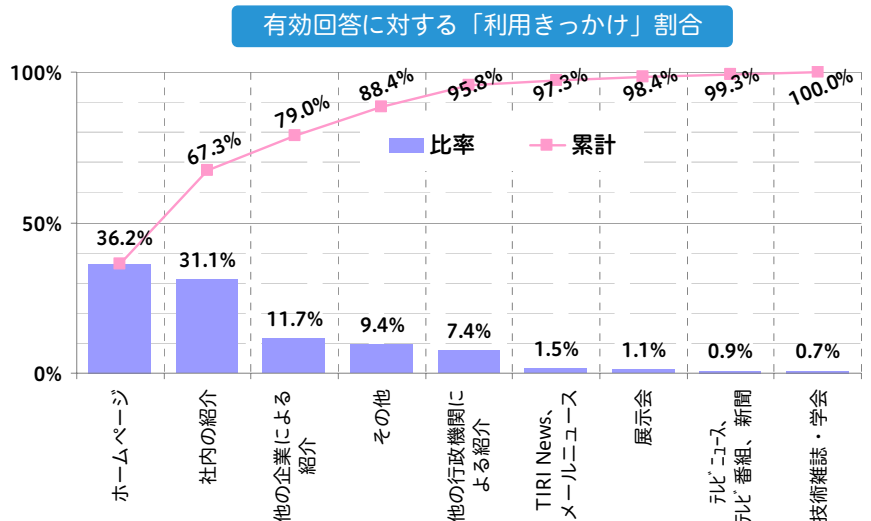
2.1 設問『利用のきっかけについて』

都産技研を利用したきっかけを訊いたところ、1,522 件の有効回答が得られた。結果は「ホームページ」が 551 件（36.2%）、「社内の紹介」が 473 件（31.1%）と多く、この二つで 7 割近い回答となっている。また「その他」への回答が 143 件あるが、代表的な内容として「以前から利用していた」が 62 件、「何らかの紹介・口コミ」が 44 件であった。

1	ホームページ	551
2	展示会	16
3	TIRI News、メルニュース	23
4	他の行政機関による紹介	113
5	他の企業による紹介	178
6	社内の紹介	473
7	技術雑誌・学会	14
8	テレビ、テレビ番組、新聞	11
9	その他	143
合計		1,522

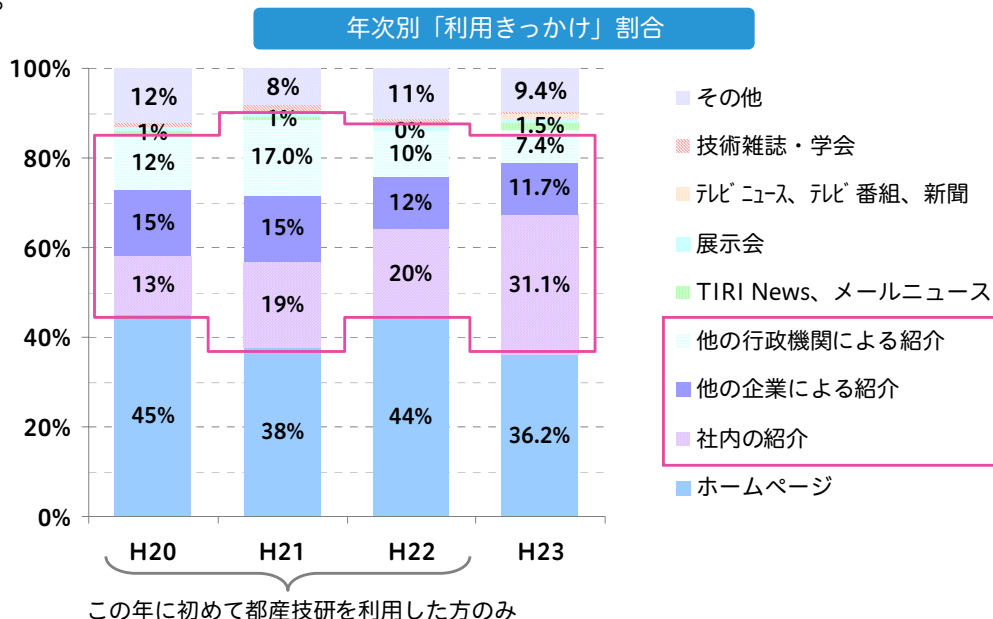
『以前から利用していたため』62件
『何らかの紹介・口コミ』44件

単位：件



なお、昨年までの調査結果から推移を見ると、年ごとの大きな変化はないものの、いずれの年でもホームページを除くと、社内や他法人からの紹介を通じて、都産技研を利用することが多いと言える。

※ただし、平成 22 年までは初めて都産技研を利用した方のみを対象とした調査であるが、今回は、平成 23 年に初めて都産技研を利用した方だけでなく、平成 23 年に利用した方全員を対象とした調査である。



2.2 設問『情報提供・広報活動について』

ホームページやメールニュースに関する自由意見として、135 件の有効コメントが得られたが、そのうち都産技研に対する要望として「試験機器の利用に関する要望」が 32 件と、多く見られた。

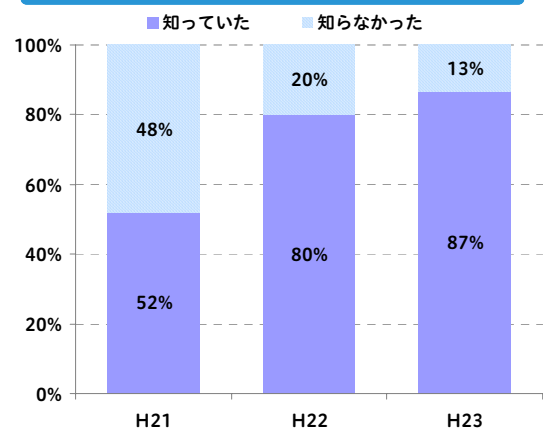
機器利用情報に関する要望例

- HP上で機器予約状況が分かるようにしてほしい
- 機器の仕様や写真など、説明をもっと充実させてほしい
- どんな機器がどのような測定が出来るのか分かりやすくしてほしい
- 利用料金の表があると便利

など

また、都産技研本部が北区西が丘から江東区青海へと移転したことは、有効回答 1,483 件のうち、「知っていた」への回答が 1,287 件（87%）あり、本部移転の認知度は年々上がっていると言える。

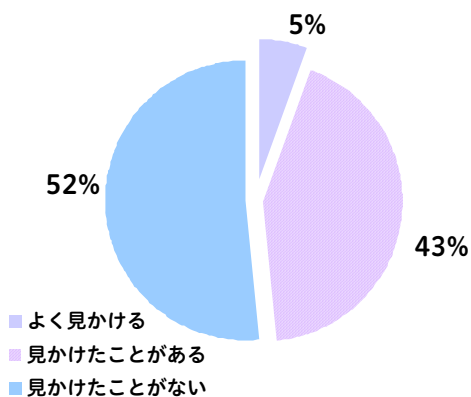
本部移転を知っていたかどうか



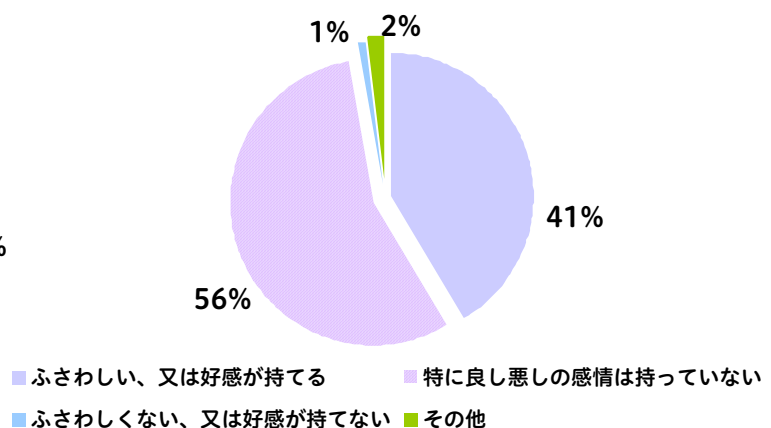
一方で、都産技研公告キャラクター（お茶の水博士：右絵）の認知度は、有効回答 1,481 件のうち、「よく見かける」が 81 件（5%）、「見かけたことがある」が 633 件（43%）で合計 714 件（48%）であることから、公告キャラクターへの認知度はあまり高くはなく、そのイメージについては「特に良し悪しの感情は持っていない」への回答が、有効回答 1,450 件中 810 件（56%）と半数以上であった。



公告キャラクターの認知度



公告キャラクターへのイメージ



公告キャラクターへの自由意見として、107件の有効コメントが得られたが、その主な内容として、「キャラクターへの好感」が31件、「見せ方（キャラクター活用）への工夫」が20件、「キャラクター利用への疑問」が32件見られた。

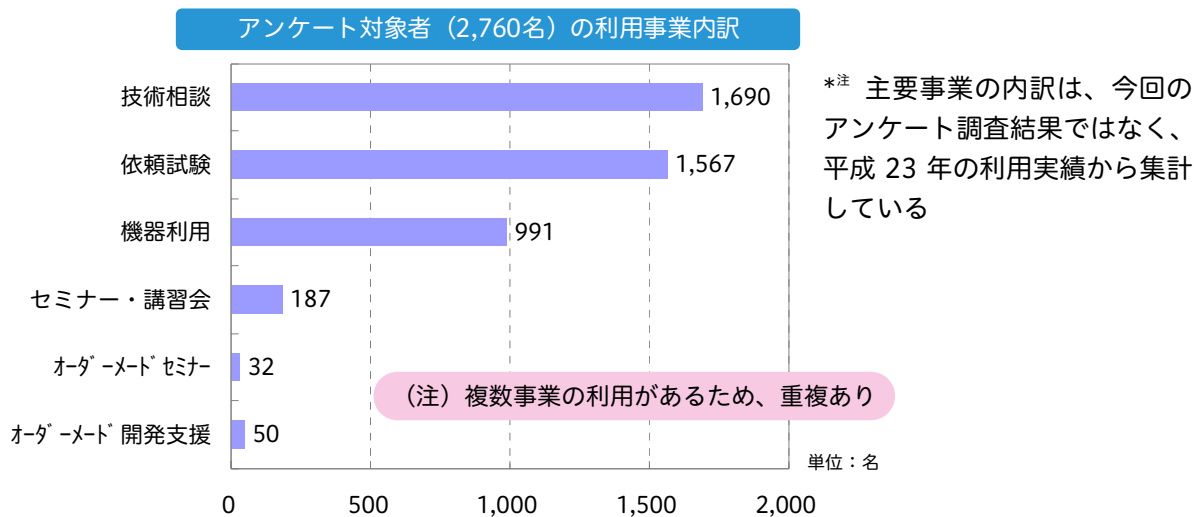
公告キャラクターに対する意見例

- 研究者・技術者のイメージで良いと思います
- 説明などを加えると良いのではないかと
- オリジナルのキャラクターの方が良い
- 著作権使用料が気になる

など

2.3 設問『事業の利用状況について』

今回アンケートの対象者である2,760名における、平成23年に利用した都産技研主要事業の内訳^{*注}は、「技術相談」を利用した方が1,690名、「依頼試験」が1,567名、「機器利用」が991名、「セミナー・講習会」が187名、「オーダーメイドセミナー」が32名、「オーダーメイド開発支援」が50名であった。



2.3.1 平成23年に利用した事業の利用目的

今回のアンケート調査では、「技術相談」「依頼試験」「機器利用」「セミナー・講習会」「オーダーメイドセミナー」「オーダーメイド開発支援」の主要事業に加え、「研究発表会の参加」の計7事業について、その利用目的や目的達成度、職員の対応について訊いている。

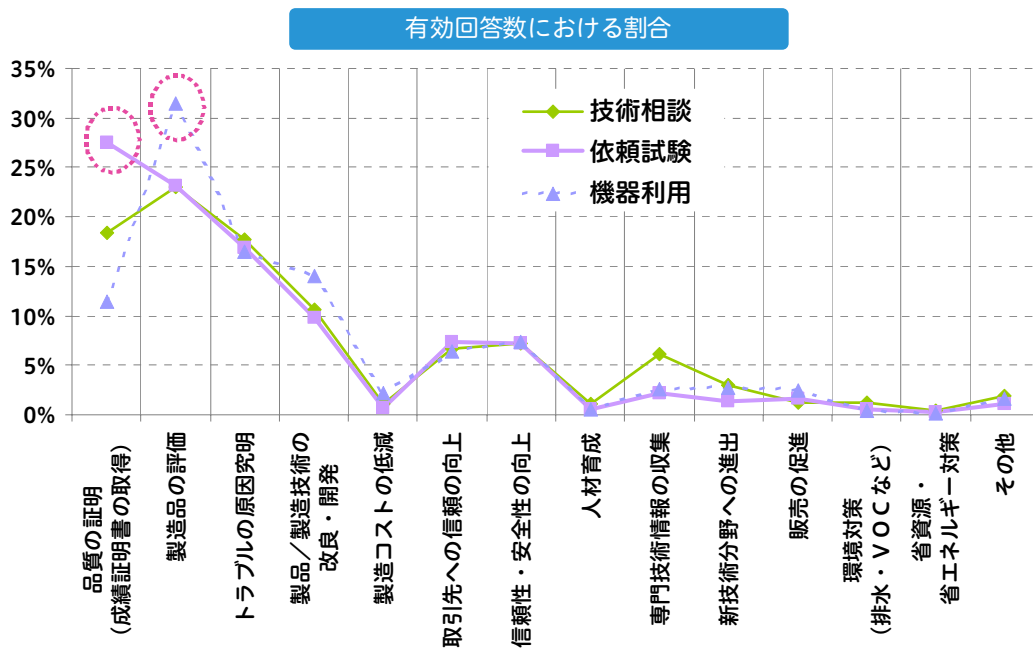
各事業の利用目的への回答結果は次の通りであった。

都産技研 主要事業		利用目的 (複数選択可)						
		技術相談	依頼試験	機器利用	セミナー・講習会	オーダーメイドセミナー	オーダーメイド開発支援	研究発表会参加
1	品質証明 (成績証明書の取得)	345	465	121	*	*	6	12
2	製造品の評価	431	391	331	*	5	16	15
3	トラブルの原因究明	332	285	174	34	5	8	8
4	製品/製造技術の改良・開発	200	165	148	42	5	16	15
5	製造コストの低減	21	11	23	3	2	2	0
6	取引先への信頼向上	126	125	68	*	1	5	2
7	信頼性・安全性の向上	134	121	77	26	1	2	6
8	人材育成	20	9	6	39	2	2	6
9	専門技術情報の収集	114	37	27	82	3	3	31
10	新技術分野への進出	57	22	29	10	0	5	14
11	販売の促進	24	28	26	2	0	2	2
12	環境対策 (排水・VOCなど)	24	9	4	8	0	0	7
13	省資源・省エネルギー対策	8	4	1	4	0	0	2
14	その他	35	18	17	5	3	0	7
合計有効回答数		1,871	1,690	1,052	255	24	67	127

単位：件

*：該当する利用目的は、アンケート選択肢から除外している

ここで、利用者数の多い「技術相談」「依頼試験」「機器利用」の3事業に絞って利用目的の傾向を捉えると、依頼試験においては「品質証明 (成績証明書の取得)」目的での利用が多く、機器利用では「製造品の評価」目的での利用が多いことが言える。



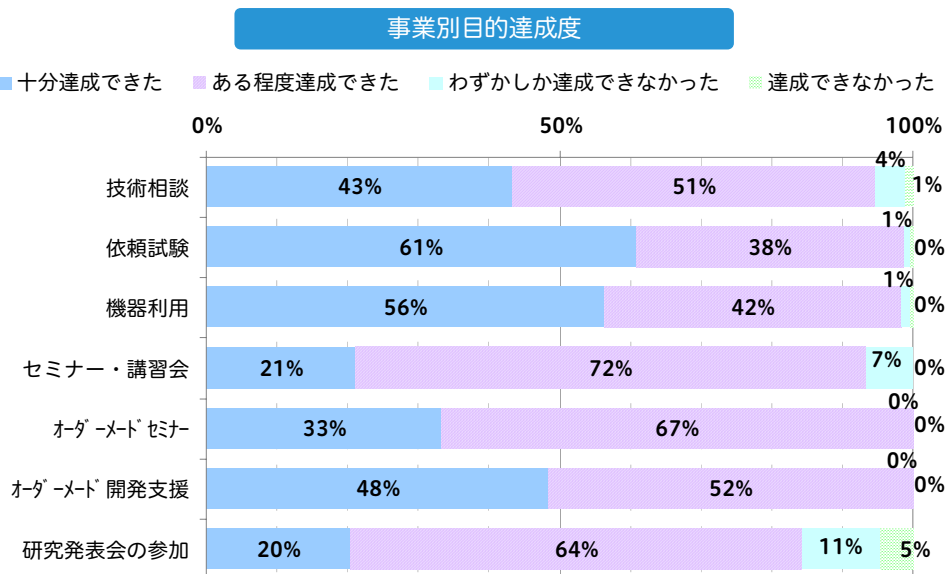
2.3.2 平成 23 年に利用した事業の目的達成度

次に、各事業の目的に対する達成度では、回答結果は次の通りであった。

都産技研 主要事業		目的達成度						
		技術相談	依頼試験	機器利用	セミナー・講習会	オーダーメイドセミナー	オーダーメイド開発支援	研究発表会参加
1	十分達成できた	361	499	291	25	4	15	13
2	ある程度達成できた	429	310	216	86	8	16	41
3	わずかしこ達成できなかった	34	8	7	8	0	0	7
4	達成できなかった	10	3	2	0	0	0	3
合計有効回答数		834	820	516	119	12	31	64

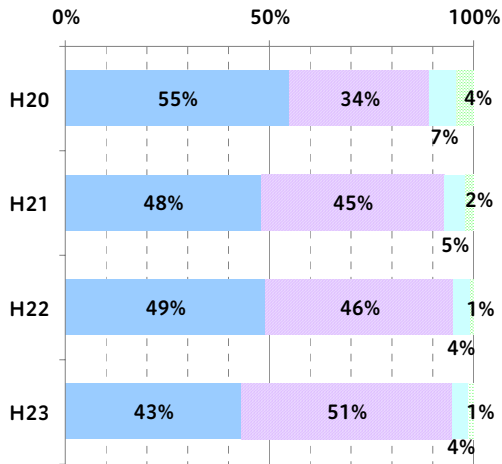
単位：件

ほとんどの事業で、「十分達成できた」「ある程度達成できた」の割合が 90%以上となっているが、研究発表会への参加のみ 84%という結果であり、「わずかしこ達成できなかった」「達成できなかった」と回答した方の割合が 16%と、都産技研事業の中では比較的多い結果となっている。

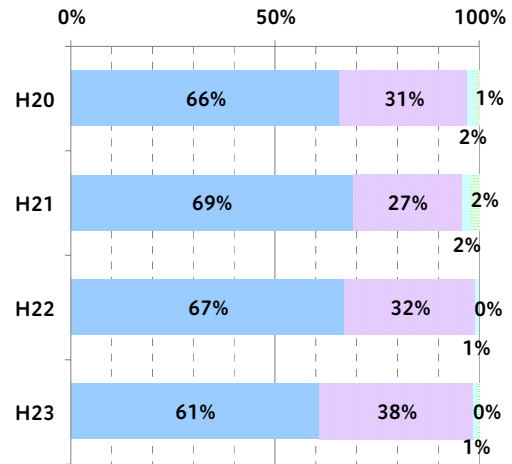


また、事業別目的達成度について、利用者数の多い3事業における昨年までとの推移を見てみると、目的達成度は昨年と同様高い水準であると言える。

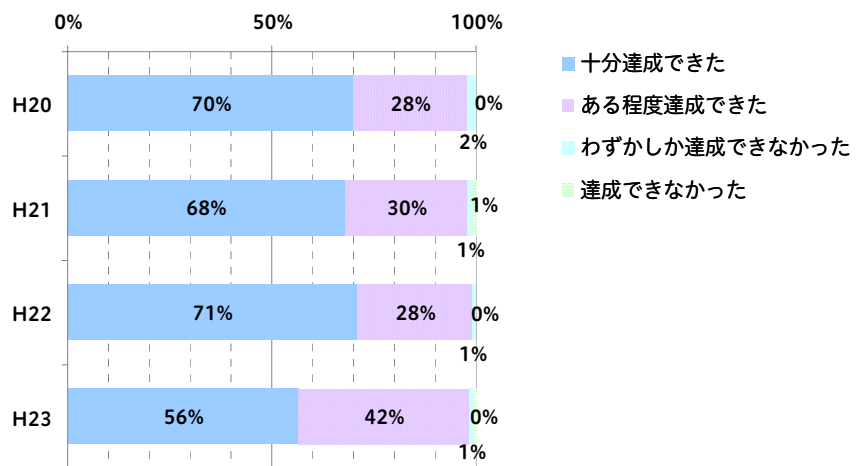
技術相談：年次別目的達成度



依頼試験：年次別目的達成度



機器利用：年次別目的達成度



各事業において、少数意見ながら達成度が低いと感じた利用者に対して、「なぜ達成できなかったのか」を訊いたところ、各事業合計で68件の有効コメントが得られた。その主な内容としては、「期待していたものと違って（相談回答・試験結果など）」が41件と最も多かった。

「期待していたものと違った」回答例

- 親身ではあったが、結果が得られなかった（技術相談）
- 内部欠陥を見ることが出来なかった（依頼試験）
- 測定したいサンプルが、利用した装置の条件に合致していなかった（機器利用）
- REACH・RoHSの講習で、概念ではなく突っ込んだ内容であった（セミナー・講習会など）

一方で、各事業を利用したことによる具体的な成果を聞いたところ、240 件の有効コメントが得られた。その主な内容としては、「都産技研から直接得られた成果（原因追究や自社で不可能な試験の実施など）」が 132 件、「開発や製品化等へ直結した成果」が 58 件となっている。

具体的な成果例

- 製品の実力値を解明できた
- 金属組織の評価方法を教えて頂いた
- 新規製品の事前評価ができ、製品開発に役立っている
- 製造技術が向上したことで性能の優れた製品を納めることが出来たなど

2.3.3 平成 23 年に利用した際の都産技研職員の対応

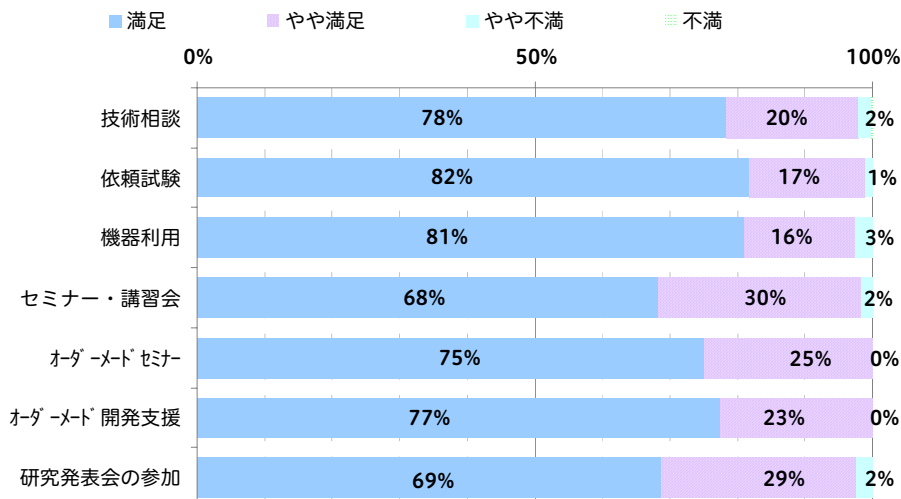
各事業を利用した際の、都産技研職員の対応満足度は以下の通りであった。

都産技研 主要事業		職員の対応						
		技術相談	依頼試験	機器利用	セミナー・講習会	オーダーメイドセミナー	オーダーメイド開発支援	研究発表会参加
1	満足	658	668	419	82	9	25	58
2	やや満足	167	141	83	35	3	7	25
3	やや不満	16	9	14	2	0	0	2
4	不満	2	0	0	0	0	0	0
合計有効回答数		843	818	516	119	12	32	85

単位：件

各事業とも「満足」「やや満足」への回答が 95%以上と、高い評価となっている。

各事業利用時の職員対応満足度



また、職員の対応について、各事業合計で 326 件の有効コメントが得られた。その主な内容は、「親切な対応であった」といった旨の回答が 238 件と大半であったが、一方で、「職員の対応が不親切であった」という旨の回答も 49 件見られた。

職員対応への意見例

- 親身になって解決策を教えてくださいました
- 利用時はとても親切に対応してくれます
- 説明が分かりやすく、実験など他の提案もしてくれ助かっている
- 事務的であって、相談しづらい雰囲気であった

など

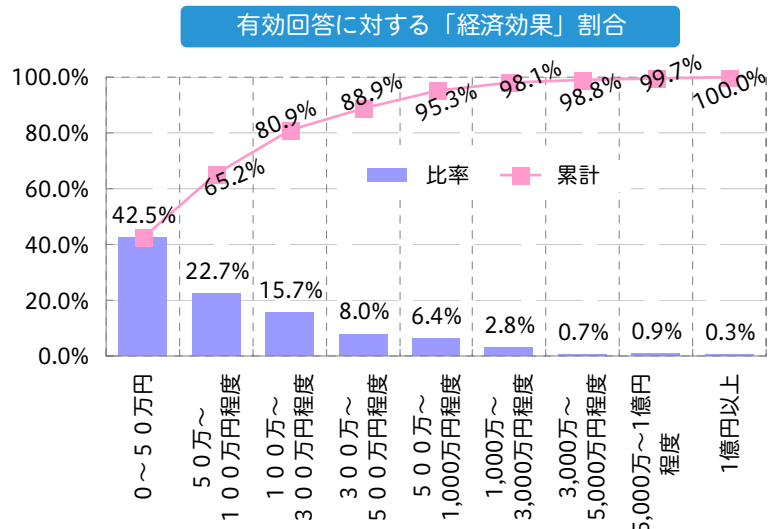
2.3.4 都産技研を利用したことによる経済効果

都産技研を利用したことにより生み出された経済効果^{*注}について、1,373 件の有効回答が得られた。その結果、「50万円以下」が584件(42.5%)、「50万～100万円程度」が311件(22.7%)、「100万～300万円程度」が216件(15.7%)であり、この三つで8割以上を占めていた。

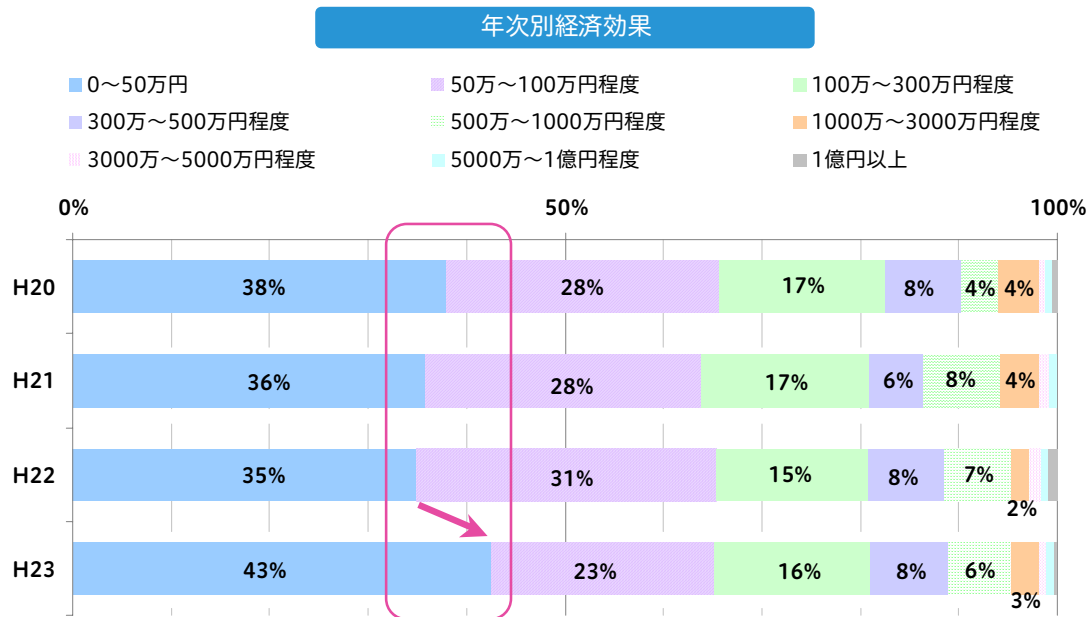
^{*注} 都産技研を利用することによって、企業等が得た効果を金額に換算した数値

1	50万円以下	584
2	50～100万円程度	311
3	100～300万円程度	216
4	300～500万円程度	110
5	500～1,000万円程度	88
6	1,000～3,000万円程度	38
7	3,000～5,000万円程度	9
8	5,000～1億円程度	13
9	1億円以上	4
合計		1,373

単位：件



今回の回答結果を、昨年までとの推移で見ると、「0～50万円」と回答した方が、例年より増加し、一方で「50万円～100万円」と回答した方が減少している。



次に、一企業あたりの経済効果の金銭換算額を、以下の試算によって算出した。

「50万円以下」への回答は25万円
「50～100万円程度」への回答は75万円
「100万～300万円程度」への回答は200万円
⋮
「1億円以上」への回答は1億円

として、全体の加重平均値を計る

金額	25万	75万	200万	400万	750万	2,000万	4,000万	7,500万	1億
件数	584	311	216	110	88	38	9	13	4

$$\begin{aligned}
 \text{経済効果回答総額} &= (25\text{万円} \times 584\text{件}) + (75\text{万円} \times 311\text{件}) + (200\text{万} \times 216\text{件}) \\
 &\quad + (400\text{万} \times 110\text{件}) + (750\text{万} \times 88\text{件}) + (2,000\text{万円} \times 38\text{件}) \\
 &\quad + (4,000\text{万円} \times 9\text{件}) + (7,500\text{万円} \times 13\text{件}) + (1\text{億円} \times 4\text{件}) \\
 &= 44\text{億}625\text{万円}
 \end{aligned}$$

$$\begin{aligned}
 \text{平均換算額} &= 44\text{億}625\text{万円} \div 1,373\text{件} \\
 &= \text{約}321\text{万円} / \text{企業}
 \end{aligned}$$

$$\begin{aligned}
 \text{利用企業全体での経済効果金額} &= 321\text{万円} \times 6,778\text{社} (*\text{注}) \\
 &= \text{約}218\text{億円}
 \end{aligned}$$

(*注) 平成23年に都産技研の業務系データベースに登録されている企業数

一企業あたりの金額は約 321 万円となり、昨年結果（約 369 万円／企業）よりも約 13%減少した。これは「50 万～100 万円程度」の回答者が減少し、その分「50 万円以下」の回答者が増加したことが影響している。

また、都産技研を平成 23 年に利用した企業全体での経済効果金額の試算値（推計）は、約 218 億円となり、昨年結果（約 235 億円）よりも約 7%減少した。これは一企業あたりの金額の低下（約 13%減少）が影響している。

次に、その経済効果が何によって生まれたかという理由を訊いたところ、382 件の有効コメントが得られた。そのコメントから、効果がどのように算出されたかを A～G の七つに分類し、それぞれでの経済効果を前述の試算方法で算出した。

分類 (内容から抽出)	有効数	1	2	3	4	5	6	7	8	9	代表値
		25万円	75万円	200万円	400万円	750万円	2,000万円	4,000万円	7,500万円	1億円	
		50万円以下	50万～100万円	100万～300万円	300万～500万円	500万～1,000万円	1,000万～3,000万円	3,000万～5,000万円	5,000万～1億円	1億円以上	一企業あたりの経済効果金額
A 他機関利用との料金/コスト差分、又はその他実質的な経済効果	105	54	31	17	1	2	0	0	0	0	85万円
B 別手段（総合的な委託、実施無し等）との料金/コスト差分	23	5	8	8	2	0	0	0	0	0	136万円
C 投資回避（機器価格）、維持費用回避	80	4	13	19	19	11	8	2	1	1	778万円
D 損失回避（品質問題等による）	43	6	7	17	5	4	3	0	1	0	525万円
E 利益アップ（製造コスト低減含む）	28	1	6	12	4	5	0	0	0	0	294万円
F 売上アップ（売上見込み、販売機会損失の回避含む）	87	5	18	15	12	20	10	2	4	0	946万円
G 波及効果	16	1	2	1	5	4	1	0	2	0	1,398万円
上記分類の総計	382										

それぞれの分類の説明とともに、その分類における一企業あたりの経済効果金額（加重平均算出値）を示すと次のようになる。

A「他機関利用との料金/コスト差分等」は都産技研による正味の経済効果を表していると判断でき、一企業あたり約85万円の経済効果であった。一方、他分類（B～G）は、総じて他機関利用でも得ることが可能と思われるものである。

B「別手段との料金/コスト差分」では一企業あたり約136万円の経済効果であった。これには、例えば“都産技研等で機器利用せずに他機関に総合的な委託をした場合との差分”、“試験を実施しなかったために無駄が省けなかった分”などが含まれている。

C「投資回避、維持費用回避」は、試験装置の購入・継続保有にかかる金額のことであり、一企業あたり約778万円の経済効果であった。

D「損失回避」は、仮に分析・評価などが実施できなかったために品質問題等が解決せず発生した可能性がある損失額のことであり、一企業あたり約525万円の経済効果であった。

E「利益アップ」は、都産技研を利用したことに起因して、増加した利益のことであり、製造コスト低減も含む。これは一企業あたり約294万円の経済効果であった。

F「売上アップ」は、都産技研を利用したことに起因して、増加した売上のことであり、売上見込みや販売機会損失の回避も含む。これは一企業あたり約946万円の経済効果であった。

G「波及効果」は、前出の分類以外の波及効果のことであり、“顧客との信頼関係向上”、“他製品の売上アップにつながった”などを含む。これは一企業あたり約1,398万円の経済効果であった。

投資回避（分類C）、売上アップ（分類F）、波及効果（分類G）は、いずれも経済効果金額が高くなっているが、都産技研利用による正味の経済効果は、個々のケースの貢献度等を勘案し、割り引いて捉える必要がある。

具体的な経済効果理由の例

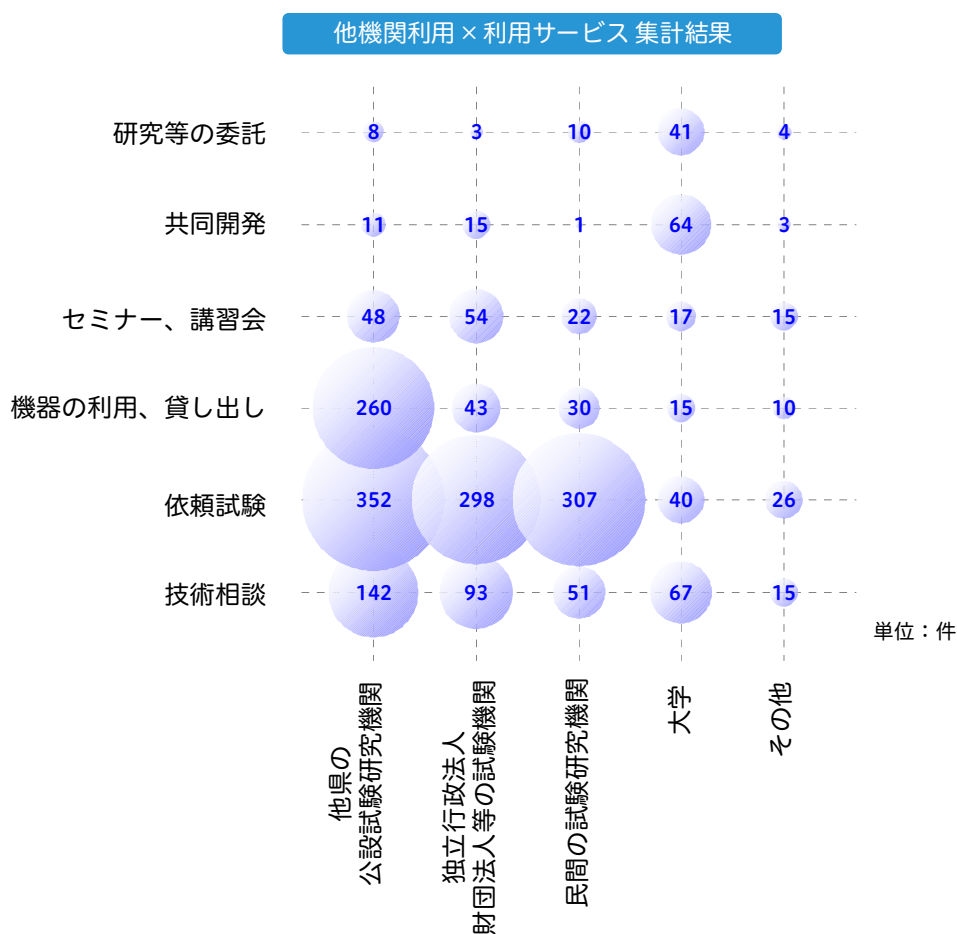
- 他の外部機関などでお願いする場合の5分の1程度だった（分類A）
- 検査を外部業者に丸投げする費用を内部取り込みできた（分類B）
- 手作業試作を造形機試作にすることにより、時間とコスト削減（分類B）
- 自前での設備投資を避けることができた（分類C）
- デバイスの内部観察により、自社製品に非が無いことを証明できた（分類D）
- 加工不良が分かり、手直し損失数十万円相当を数件回避できた（分類D）
- 3D造形により金型レスで検討をすすめることができた（分類E）
- 改良品の信頼性が立証され、お客様に採用していただいた（分類F）
- 得意先との信頼関係ができて、次機種を受注につながった（分類G）
- 研究員の専門知識を集約して開発。その人材雇用を金銭換算（分類G）

など

2.3.5 他機関の利用状況

今回のアンケート対象者に対して、他機関の利用状況について訊いたところ、2,065 件の有効回答が得られた(複数回答あり)。その結果、依頼試験を目的に他機関を利用することが多く、「他県の試験研究機関を、依頼試験で利用する」が 352 件、「民間の試験研究機関を、依頼試験で利用する」が 307 件、「独立行政法人・財団法人等の試験機関を、依頼試験で利用する」が 298 件と、上位三つを依頼試験利用が占めている。

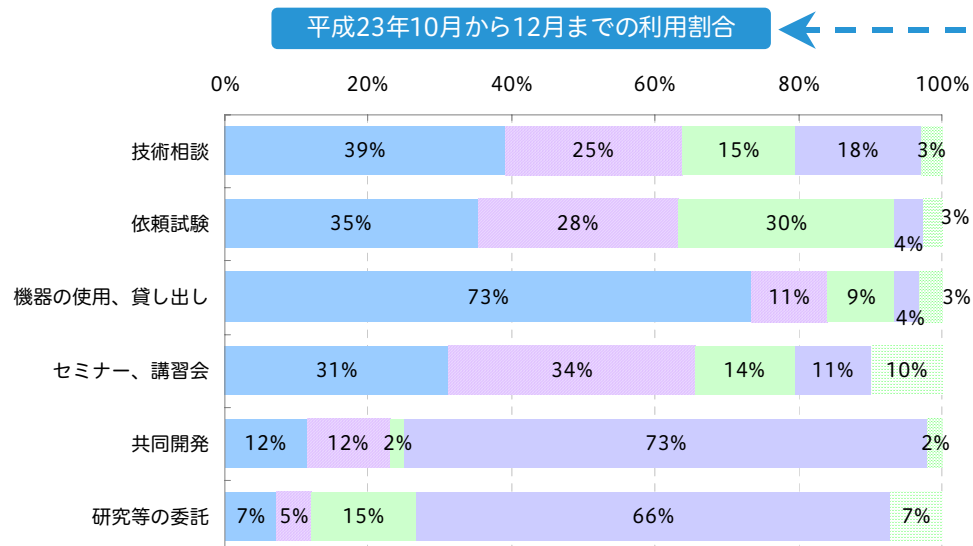
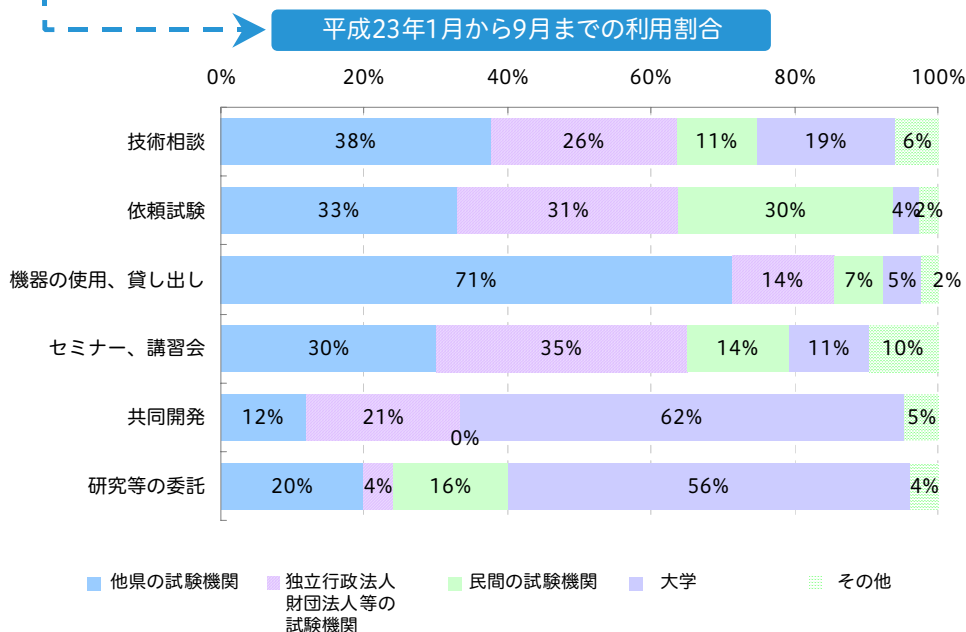
また、件数は多くないものの、「共同開発」や「研究等の委託」を目的とする場合は、他機関として「大学」を利用する傾向にあり、「機器の利用、貸し出し」では「他県の試験研究機関」を利用することが多く、それ以外の機関はあまり利用されない傾向にあった。



(注) 複数の他機関利用、及び複数サービス利用があるため、重複あり

今回のアンケートでは、本部移転前である平成23年1月から9月までと、移転後である平成23年10月から12月までと区分して訊いており、内訳は「平成23年1月から9月まで」が合計1,264件、「平成23年10月から12月まで」が801件であった。

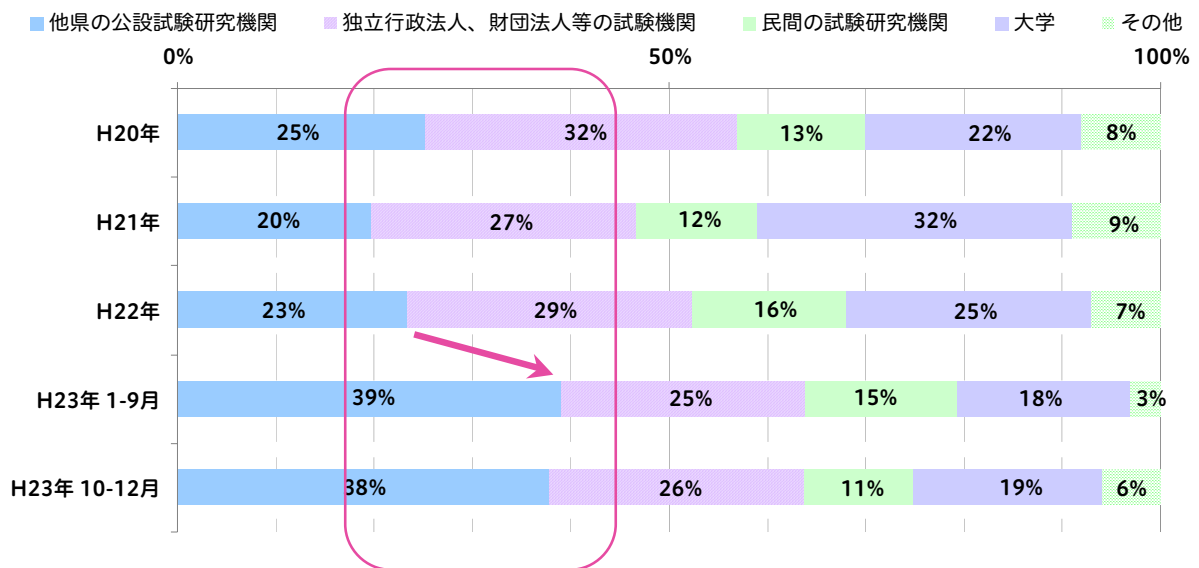
平成23年1月から9月までの利用件数						平成23年10月から12月までの利用件数					
他機関の種類 利用サービス	他機関の種類					他機関の種類 利用サービス	他機関の種類				
	他県の 公設試験機関	独立行政法人等 の試験機関	民間の試験機関	大学	その他		他県の 公設試験機関	独立行政法人等 の試験機関	民間の試験機関	大学	その他
技術相談	91	58	36	41	7	51	35	15	26	8	
依頼試験	219	173	186	25	16	133	125	121	15	10	
機器の利用、貸し出し	166	24	21	8	7	94	19	9	7	3	
セミナー、講習会	29	32	13	10	9	19	22	9	7	6	
共同開発	6	6	1	38	1	5	9	0	26	2	
研究等の委託	3	2	6	27	3	5	1	4	14	1	
合計有効回答数	514	295	263	149	43	307	211	158	95	30	
	1,264					801					



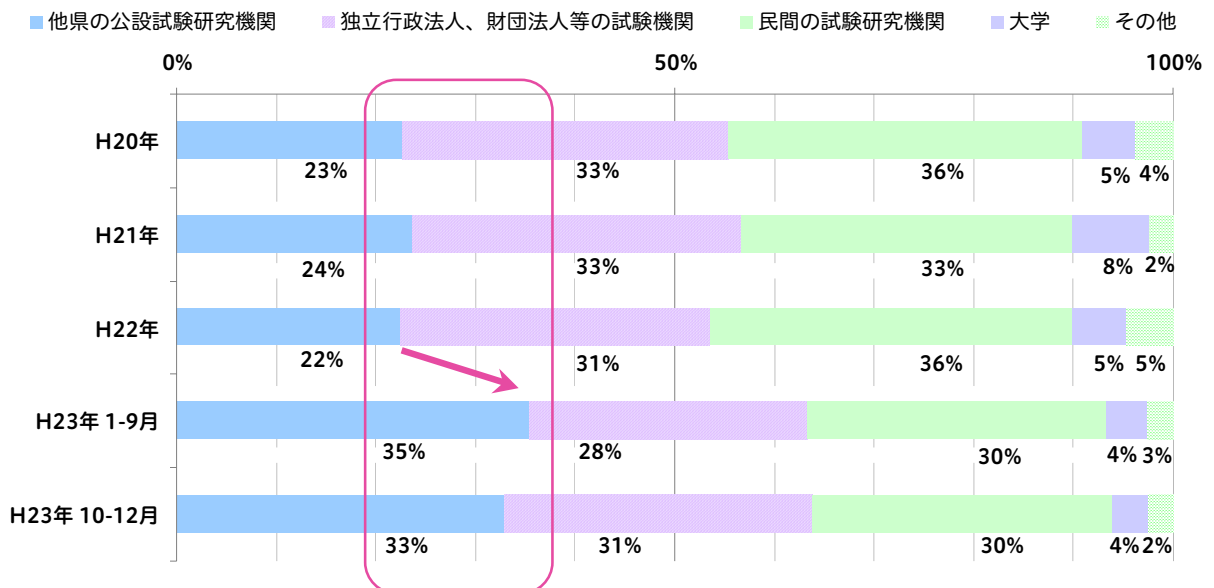
「平成 23 年 1 月から 9 月」までと、「平成 23 年 10 月から 12 月まで」との差異では、それぞれの期間に対して、他機関利用件数が「平成 23 年 10 月から 12 月まで」の方が多く（一方が 9 ヶ月間で 1,264 件に対して、一方では 3 ヶ月間で 801 件）、利用している他機関のサービスでは、両者の間に大きな差異は見られなかった。

また、「技術相談」「依頼試験」「機器の利用、貸し出し」の三つの他機関利用に対して、昨年までの推移を捉えると、いずれのサービスでも平成 23 年では「他県の公設試験研究機関」の利用が増えており、「機器の利用、貸し出し」では 30 ポイント近く増加していた。

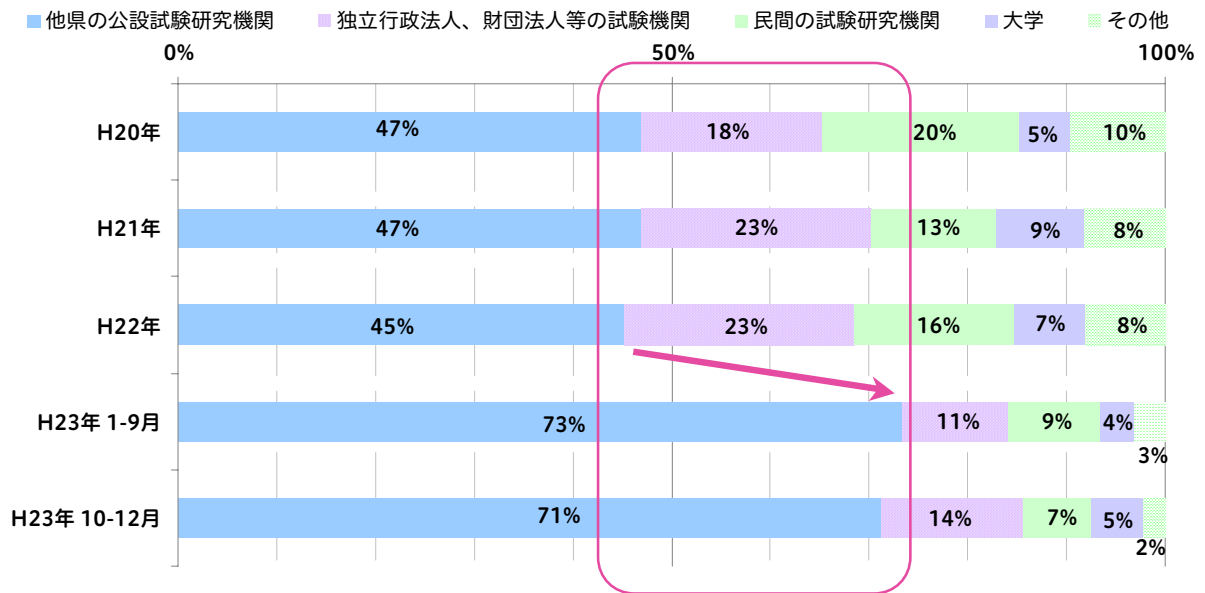
技術相談：年次別他機関利用割合



依頼試験相談：年次別他機関利用割合



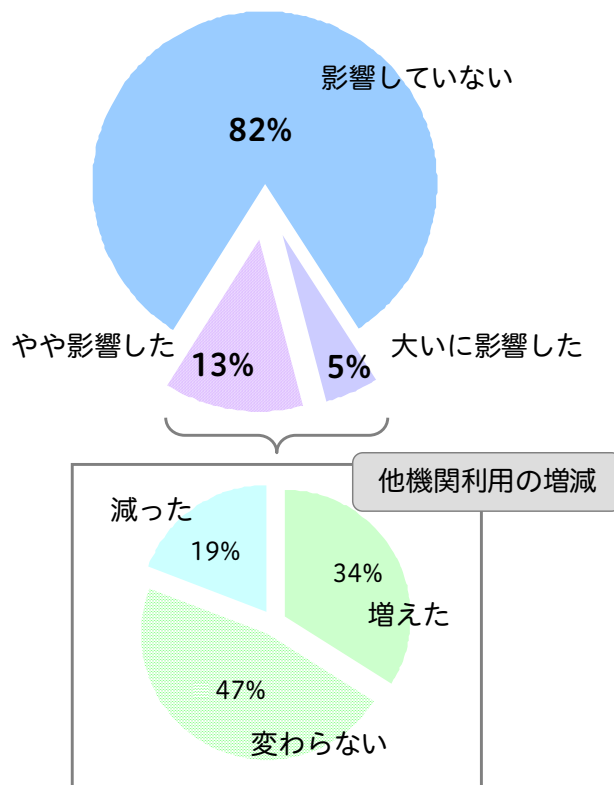
機器利用・貸出：年次別他機関利用割合



次に、都産技研本部が移転したことが、他機関利用に影響したかを聞いたところ、907 件の有効回答が得られた。結果は「大いに影響した」が45件(5%)、「やや影響した」が119件(13%)、「影響していない」が743件(82%)であった。

また「大いに影響した」「やや影響した」に回答した164件のうち、他機関利用の増減について聞いたところ136件の有効回答が得られ、「増えた」が46件(34%)、「減った」が26件(19%)、「変わらない」が64件(47%)といった結果であった。

本部移転による他機関利用への影響



他機関利用に関して、なぜ他機関を利用されるのか理由を訊いたところ、450 件の有効コメントが得られた。その主な内容として、「設備やサービスの充実（都産技研では扱っていないなど）」への回答が 145 件、「物理的な距離」が 100 件、「都産技研で予約が取れなかったため」が 48 件、「内容が専門分野であった」が 33 件であった。

他機関利用の理由例

- 薬事関連の試験で産技研では対応不可だったため
- RFIDに特化した試験が可能であった
- 試験データのアウトプットだけでなく、それをふまえた技術見解を示してくれる
- 利用したい機器が他機関にあり、東京にはなかったため
- 重量/高さがある製品の振動試験を行うことが可能な機関を利用した
- 繊維専門の設備があるから
- 弊社から一番近い場所なので
- 従来より利用しており、交通の面でも近いため
- 会社の近くにあり利用したい設備も揃っている
- 問い合わせたが産技研の設備が空いてなかったため
- 予約が混雑しており、希望日より大幅に遅い日程でしか空きが無い場合、他所を利用
- 専門的な分野に限定して、そのエキスパートに依頼したい
- 専門（樹脂）分野である為、深い分析が可能

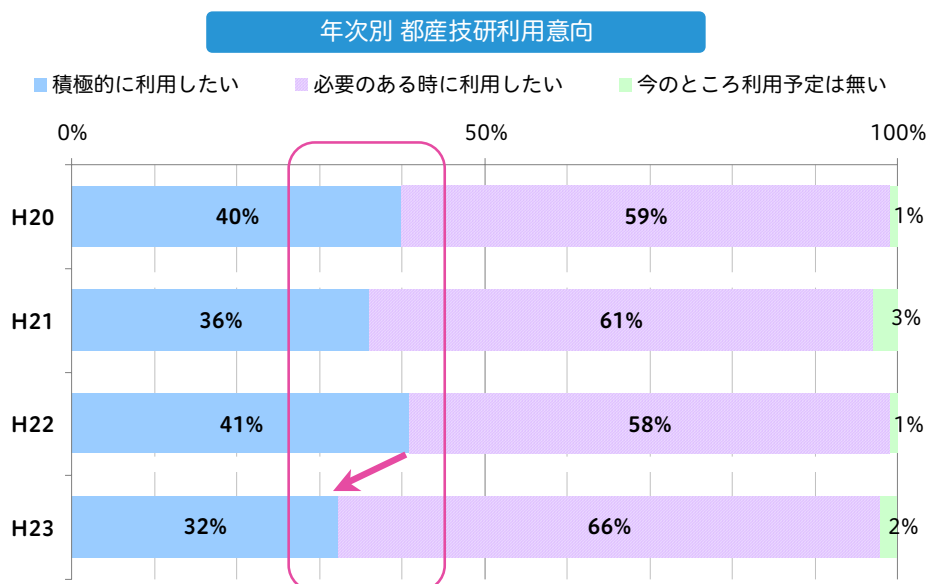
など

2.4 設問『今後の利用意向・要望について』

2.4.1 都産技研への利用意向・要望

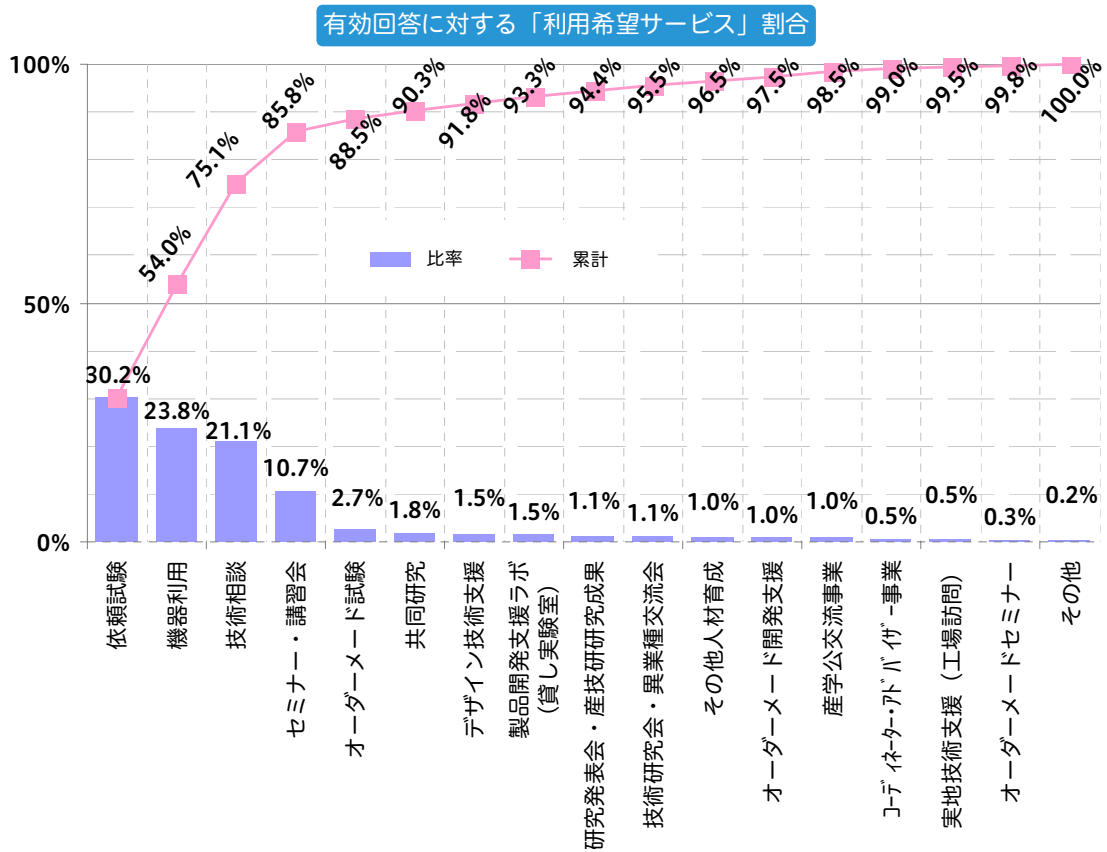
今後も都産技研を利用されるかを訊いたところ、1,477件の有効回答が得られ、「積極的に利用したい」が477件（32%）、「必要のある時に利用したい」が969件（66%）、「今のところ利用予定はない」が31件（2%）という結果であった。

昨年までとの推移で見ると、「積極的に利用したい」の比率が少なくなり、その分「必要のある時に利用したい」が増えている。



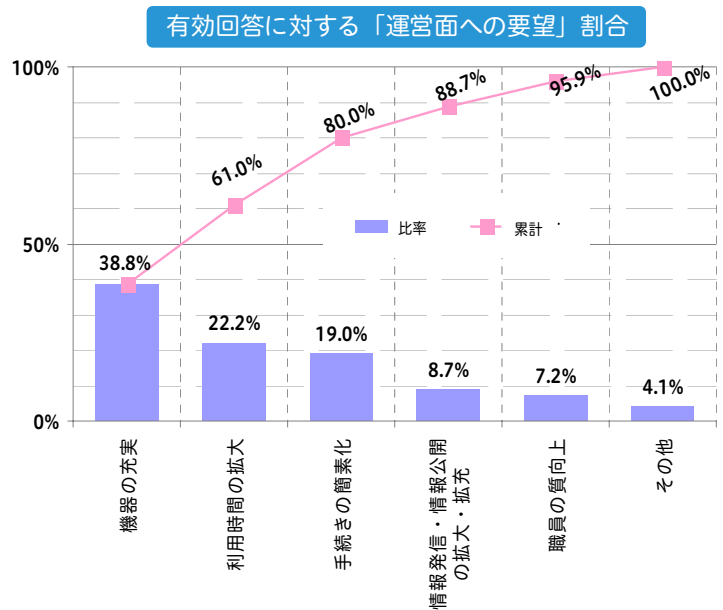
利用を希望する具体的なサービスについては3,764件の有効回答が得られ（複数回答あり）、「依頼試験」が1,135件（30.2%）、「機器利用」が896件（23.8%）、「技術相談」が794件（21.1%）であり、この三つで75%を占める結果となった。

1	技術相談	794
2	依頼試験	1,135
3	機器利用	896
4	セミナー・講習会	401
5	その他人材育成	38
6	オーダーメイド試験	103
7	オーダーメイドセミナー	13
8	オーダーメイド開発支援	39
9	デザイン技術支援	56
10	コーディネーター・アドバイザー事業	20
11	実地技術支援（工場訪問）	19
12	共同研究	68
13	研究発表会・産技研研究成果	43
14	技術研究会・異業種交流会	41
15	産学交流事業	37
16	製品開発支援ラボ（貸し実験室）	55
17	その他	6
合計有効回答数		3,764



また、都産技研への運営面への要望は、有効回答 1,350 件のうち、「機器の充実」が 522 件 (38.7%)、「利用時間の拡大」が 302 件 (22.4%)、「手続きの簡素化」が 256 件 (19.0%) と、この三つで 8 割を占める結果であった。

1	手続きの簡素化	256
2	利用時間の拡大	302
3	機器の充実	522
4	職員の質向上	96
5	情報発信・情報公開の拡大・拡充	119
6	その他	55
合計有効回答数		1,350



都産技研のサービスや運用面について自由意見を訊いたところ、262 件の有効回答が得られた。サービスに対する主な内容としては、「報告書の作成など事業内容の充実に関すること」が 78 件、「利用機器の充実や更新に関すること」が 43 件となっている。運用面に対する主な内容としては、「支払い方法に関すること」が 44 件、「空き状況の把握など予約に関すること」が 29 件となっている。

サービスに対する要望例

- 対外的にそのまま提出できる試験報告書の作成をして欲しい
- 海外の認定機関への申請サポートや代行サービスなどがあると助かります
- 大型の総合試験（振動、環境）が出来る機器を導入して欲しい
- 機器利用の種類を多くしてほしい
- 利用頻度の多い機器については、拡充をお願いしたい

など

運営に対する要望例

- 試験費用の支払いを締め日払いにして欲しい
- 支払いは会社の口座から経理的に手続きを経て支払いたいです
- インターネット上で機器利用の予約や確認が出来ると良い
- 担当の人以外でも機器予約を対応してほしい

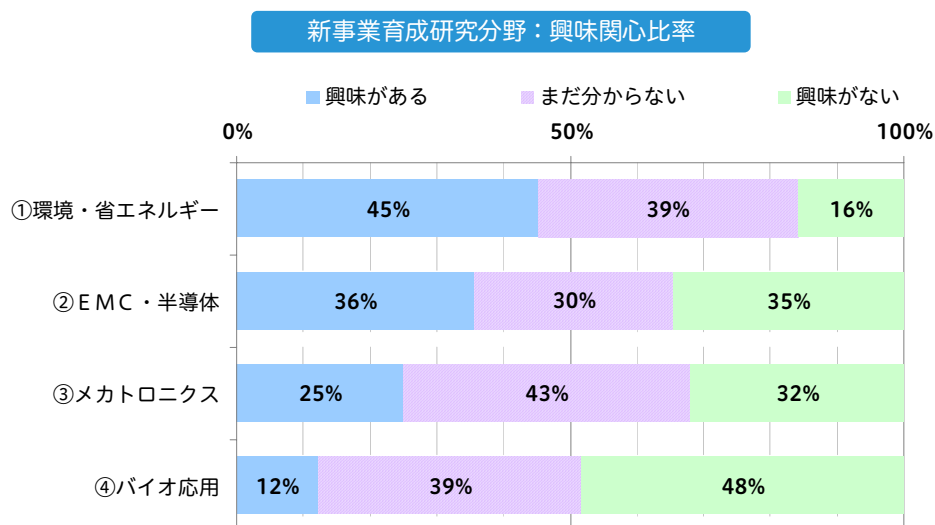
など

2.4.2 各事業への要望・期待

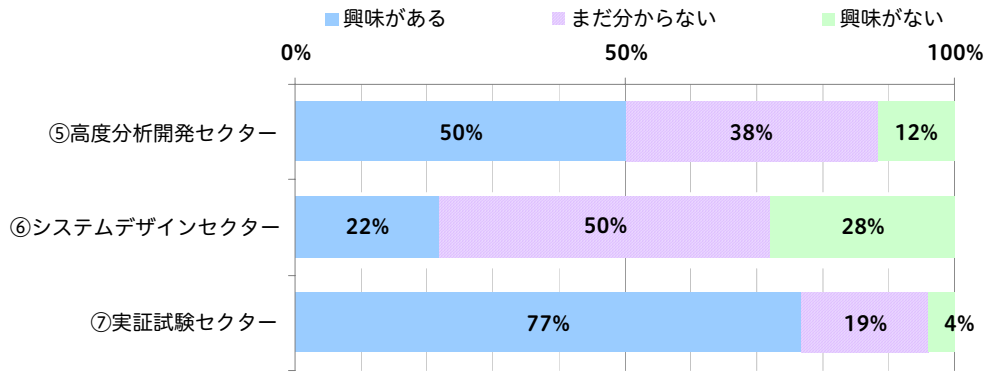
アンケート対象者に、都産技研の15のサービス・分野への興味有無について訊いたところ、それぞれの回答結果は以下の通りとなった。回答件数が一番多かったのは、「実証実験セクターへ興味がある」の979件であった。

サービス・分野 \ 興味・関心		興味・関心			合計有効回答数
		興味がある	まだ分からない	興味がない	
1	環境・省エネルギー	527	454	184	1,165
2	EMC・半導体	403	336	390	1,129
3	メカトロニクス	272	469	349	1,090
4	バイオ応用	133	426	522	1,081
5	高度分析開発セクター	583	443	135	1,161
6	システムデザインセクター	239	544	305	1,088
7	実証実験セクター	979	247	51	1,277
8	音響試験	210	359	520	1,089
9	証明試験	268	382	455	1,105
10	高電圧試験	169	376	531	1,076
11	非破壊透視試験	543	386	218	1,147
12	ガラス技術	140	402	535	1,077
13	国際規格対応支援	495	450	194	1,139
14	放射線測定	212	480	396	1,088
15	節電・省エネルギー技術支援	342	456	291	1,089

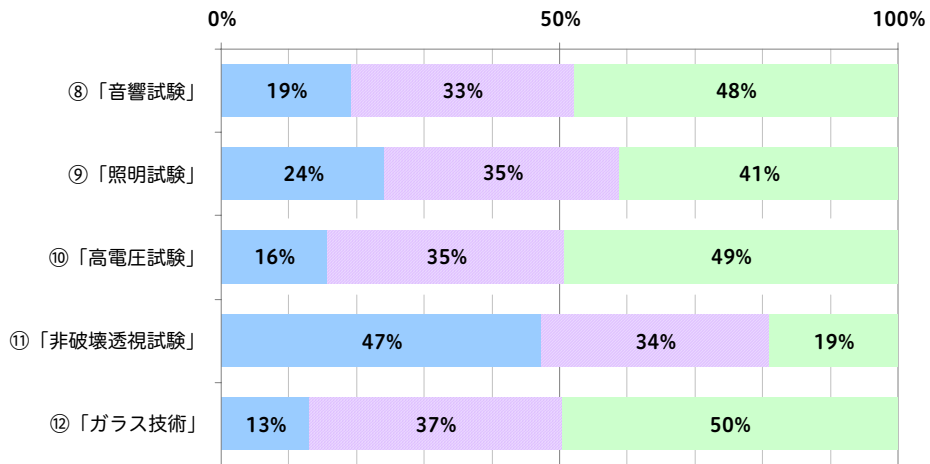
各サービス・分野を有効回答数の比率で表すと、「実証実験セクター」、「高度分析開発セクター」、「非破壊透視試験」、「環境・省エネルギー」、「国際規格対応支援」への興味が高いことが言える。



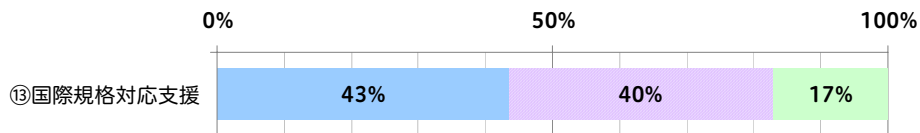
総合支援機能：興味関心比率



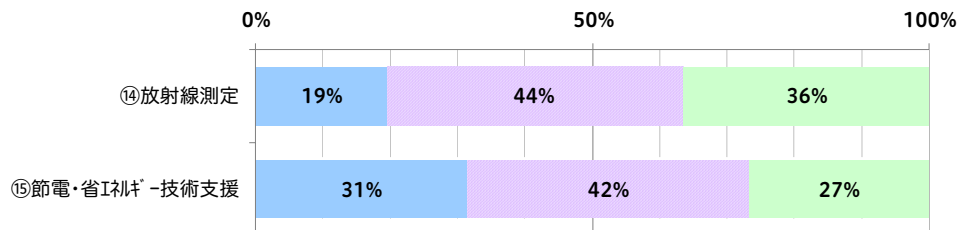
ブランド試験：興味関心比率



国際化対応：興味関心比率

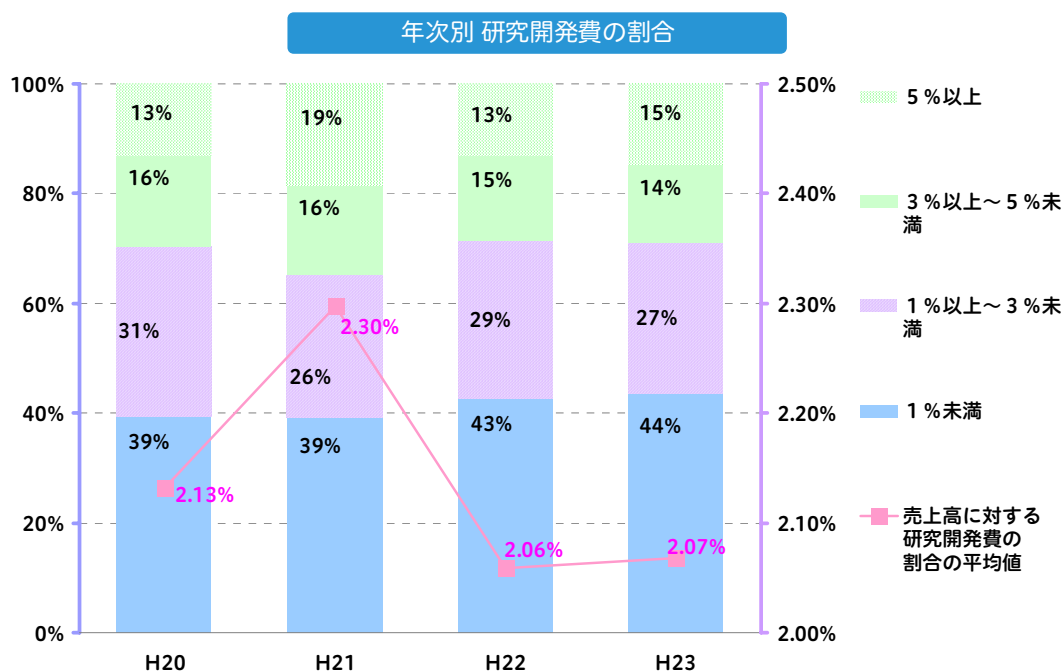


災害対応：興味関心比率

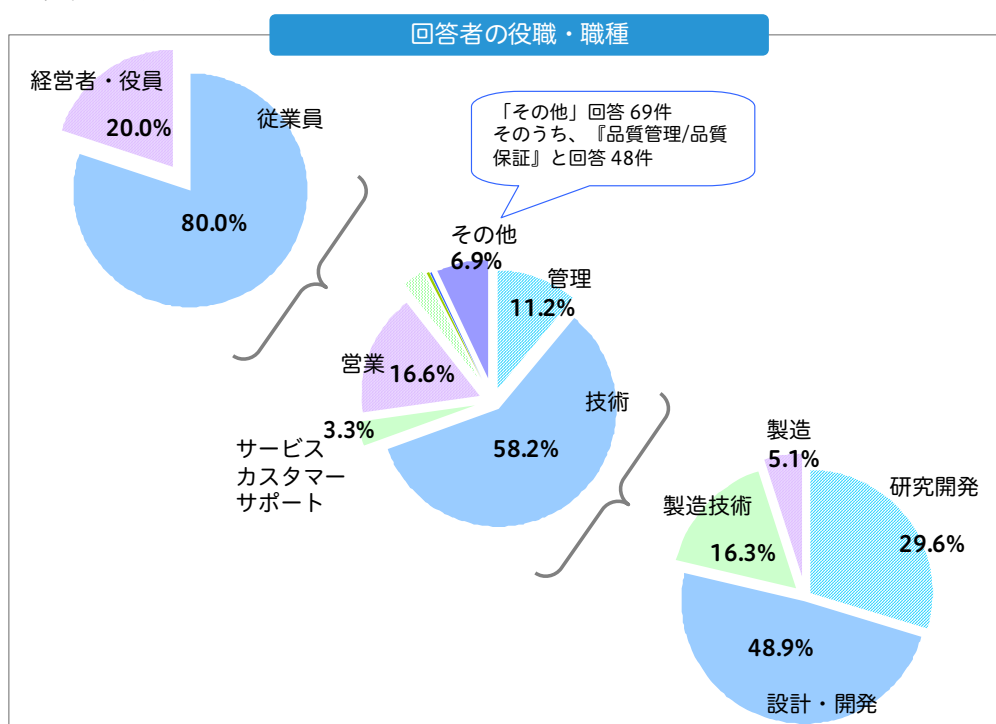


2.5 設問『会社及び対象者自身について』

アンケート対象者へ、自社の売上高に対する研究開発費率を訊いたところ、1,329 件の有効回答が得られた。その内訳は「1%未満」が 581 件（44%）、「1%以上～3%未満」が 364 件（27%）、「3%以上～5%未満」が 190 件（14%）、「5%以上」が 194 件（15%）となっている。
 昨年までの推移を見ると、例年と比べて大きな変化は見られなかった。



今回のアンケート回答者の職位・職種については、有効回答 1,347 件中、「経営者・役員」が 270 件（20.0%）、「従業員」が 1,077 件（80.0%）であった。また、従業員の職種の主な比率は「技術」が 58.2%、「営業」16.6%、「管理」が 11.2%であり、「その他」6.9%のうち過半数は「品質管理・品質保証」の職種であった。



3. 総括

都産技研の利用に関する調査に数多くのご意見・ご要望をいただきました。都産技研ではこれらの結果を横断的な視点で考察し、都産技研の課題を明確にしたうえで事業運営に反映していきたいと考えています。以下では、課題を構造的に捉え、今後の方向性についてとりまとめた内容をご報告いたします。

3.1 利用者のご要望

アンケートの他機関を利用する理由、及び都産技研への要望の調査結果から、利用者の皆様のご要望を分類し、都産技研として対応すべきテーマ・課題を次のようにまとめました。

テーマ (大)	テーマ (小)	課題	課題の詳細
1. 利用者の事業に直結する課題	(a) 事業/サービスの方向性	ア) 質的拡大・適正化	<ul style="list-style-type: none"> ● 証明書・報告書発行業務 ● 第三者認証機関としての認証業務 ● 海外認定の申請・代行サービス ● 各種アドバイス、委託加工 など
		イ) 量的拡大・最適化	<ul style="list-style-type: none"> ● 試験対応範囲の拡張 ● 対応事業所の拡大 (EMC、特殊分析) ● 機器・設備の増強
	(b) 事業/サービスのQCD ^{*注}	ア) Q	<ul style="list-style-type: none"> ● 精度の向上、書類の品質向上 ● 技術相談の質向上
		イ) C	<ul style="list-style-type: none"> ● 利用料金の低額化 ● 料金体系の適正化 (検体→日単価) ● 優遇措置の適正化
		ウ) D	<ul style="list-style-type: none"> ● 利用日・利用時間の拡大・延長 ● 待ち時間短縮、納期短縮
	2. 事業/サービス提供円滑化のための課題	(a) 手続きの多様化・簡略化	ア) 予約
イ) 支払			<ul style="list-style-type: none"> ● 銀行振込対応 ● 対応クレジットカード拡大 ● 締日・後払い対応
ウ) その他			<ul style="list-style-type: none"> ● データやり取り手段の多様化 ● 複数回利用時の簡素化
(b) 人的改善		ア) 人材活用	<ul style="list-style-type: none"> ● 専門技術力の向上・維持 ● 専門技術レベルに応じた適正配置
		イ) 応対改善	<ul style="list-style-type: none"> ● 応対品質の向上 ● 担当者間の連携
(c) その他		各種ニーズ	<ul style="list-style-type: none"> ● ホームページの充実 (予約関連等) ● 研究員との交流のしやすさ向上など

「1. 利用者の事業に直結する課題」は、都産技研が各利用者（企業）に対して直接的に提供する価値に関する課題群であるため、対応すべき重要な部分であると認識しております。そのうち、「(a) 事業/サービスの方向性」については、事業/サービスの拡大・適正化を求めるニーズへの対応であり、「ア) 質的拡大・適正化」と「イ) 量的拡大・適正化」とに分けて課題を捉えました。特に、他機関を利用される理由の最も多いものが、「サービスや設備に関する理由」であった（17ページ参照）ことから、利用者の皆様のニーズに今後とも耳を傾け、充実を図る必要があります。「(b) 事業/サービスの QCD」については、現在の事業/サービス範囲での QCD に関するニーズへの対応であり、Q（品質）、C（コスト）、D（提供/納期）に分けて課題を捉えました。

「2. 事業/サービス提供円滑化のための課題」は、都産技研による事業/サービス提供を円滑にすることに関わる課題群であり、より高い利用者満足を得る上で無視できない部分であると認識しております。そのうち、「(a) 手続きの多様化・簡略化」については、「ア) 予約」、「イ) 支払」、「ウ) その他」の三つに分けて課題を捉え、「(b) 人的改善」については、「ア) 人材活用」と「イ) 対応改善」の二つに分けて課題を捉え、「(c) その他」については、手続きや人以外のニーズへの対応を課題として捉えました。

3.2 今後の方向性

「1. 利用者の事業に直結する課題」に対しては、利用者（企業）へのサービスレベル向上に向けて、各種技術分野における試験範囲の拡大や試験精度の向上、ご要望の高い機器の充実化を図る一方、今回の調査から国際規格対応へのニーズが高いことも分かりましたので、海外の安全規制の情報収集や技術支援等を積極的に進めてまいります。都産技研では対応できない範囲の試験や技術においては、他の試験研究機関と連携した試験実施等を通じて、積極的に利用者のご要望に応じていきます。

また、都産技研の対応試験や保有機器の情報等について、企業の皆様にどのようなお役立ちができるかの情報提供にも努めていきます。

そのほか試験の納期短縮など、事業の/サービスの QCD に係る課題につきましても、順次検討及び対応を進めていきます。

「2. 事業/サービス提供円滑化のための課題」に対して、特に「予約」と「支払」については今回ご要望が多くありました。予約状況のホームページでの見える化や支払いの簡略化など、一部取り組みが進んでいる部分もありますが、今回の結果を真摯に受け止め、より一層手続きの多様化・簡略化に向けて、また職員の技術レベル及び対応レベル向上に向けて、その対応の速度と質の向上に努めてまいります。

参考資料

「平成 23 年ご利用に関するアンケート」

(※注)

アンケートの設問：3.(1)「ご利用の目的と達成度、及び職員の対応について」P.29 から P.34 までのページは、各種事業を利用された方のみを対象に印刷/送付しております。

(例：平成 23 年に技術相談だけを利用した方は、P.30 から P.34 はなく、P.29 だけ印刷したものを送りしております。)

《平成 23 年ご利用に関するアンケート》

アンケートに対する回答には、選択肢と自由回答欄があります。

選択肢がある設問では、該当する回答の 部にチェック（し点など）を記入してください。

1. 産技研のご利用のきっかけについてお伺いします。

(1) ご利用のきっかけは、次のうちどれですか。

利用のきっかけ 【1つだけ選択】	1	<input type="checkbox"/>	ホームページ
	2	<input type="checkbox"/>	展示会（ ）
	3	<input type="checkbox"/>	T I R I News、メールニュース
	4	<input type="checkbox"/>	他の行政機関による紹介
	5	<input type="checkbox"/>	他の企業による紹介
	6	<input type="checkbox"/>	社内の紹介
	7	<input type="checkbox"/>	技術雑誌・学会
	8	<input type="checkbox"/>	テレビニュース、テレビ番組、新聞
	9	<input type="checkbox"/>	その他（ ）

2. 情報提供・広報活動に関してお伺いします。

(1) ホームページ及びメールニュースに関して

産技研のホームページの場所は次のとおりです。

<http://www.iri-tokyo.jp>

また、産技研ではメールニュース（※）を随時配信しています。

※：内容は研修・講習会等の募集、研究発表会・施設公開等のイベント、刊行物の紹介情報 など
ホームページ及びメールニュースについてご意見などがありましたら、お聞かせください。

メールニュースの配信を希望される方は配信先メールアドレスをご記入ください。

配信先メールアドレス	
------------	--

(2) 本部移転に関して

産技研本部は10月に西が丘（北区）から青海（江東区）へ移転しましたが、このアンケートを受け取る前にこの移転についてご存じでしたか。

本部移転認知度 【1つだけ選択】	1	<input type="checkbox"/>	知っていた
	2	<input type="checkbox"/>	知らなかった

(3) 広報活動に関して

産技研は新聞や公共交通機関内で広告をおこない、利用の促進を図っています。

産技研の広告を見かけたことがありますか。

また、広告キャラクター（お茶の水博士）について、どのように感じますか。

公告認知度 【1つだけ選択】	1	<input type="checkbox"/>	よく見かける
	2	<input type="checkbox"/>	見かけたことがある
	3	<input type="checkbox"/>	見かけたことがない
公告キャラクターの イメージ 【1つだけ選択】	1	<input type="checkbox"/>	ふさわしい、又は好感が持てる
	2	<input type="checkbox"/>	特に良し悪しの感情は持っていない
	3	<input type="checkbox"/>	ふさわしくない、又は好感が持てない
	4	<input type="checkbox"/>	その他 ()
公告内容及び公告キャラクターについて、ご要望・ご意見がありましたら、お聞かせください。			



産技研 公告キャラクター

3. これまでの産技研のご利用を中心にお伺いします。

(1) ご利用の目的と達成度、及び職員の対応について

昨年は産技研の各種サービスをご利用いただきましてありがとうございます。

サービスに対する利用目的と目的達成度は、次のどれに該当するかお聞かせください。

『技術相談』について

技術相談 の利用目的 【複数選択可】	1	<input type="checkbox"/>	品質の証明（成績証明書の取得）
	2	<input type="checkbox"/>	製造品の評価
	3	<input type="checkbox"/>	トラブルの原因究明
	4	<input type="checkbox"/>	製品／製造技術の改良・開発
	5	<input type="checkbox"/>	製造コストの低減
	6	<input type="checkbox"/>	取引先への信頼の向上
	7	<input type="checkbox"/>	信頼性・安全性の向上
	8	<input type="checkbox"/>	人材育成
	9	<input type="checkbox"/>	専門技術情報の収集
	10	<input type="checkbox"/>	新技術分野への進出
	11	<input type="checkbox"/>	販売の促進
	12	<input type="checkbox"/>	環境対策（排水・VOCなど）
	13	<input type="checkbox"/>	省資源・省エネルギー対策
	14	<input type="checkbox"/>	その他（ ）
技術相談 の成果達成度 及び目的達成度 【1つだけ選択】	1	<input type="checkbox"/>	十分達成できた
	2	<input type="checkbox"/>	ある程度達成できた
	3	<input type="checkbox"/>	わずかしかなかった
	4	<input type="checkbox"/>	達成できなかった
達成度が低いと感じた場合（3又は4を選択した場合）、その理由をお聞かせください。			
また、具体的な成果（派生を含めて、製品改良や事業化事例など）があれば、お聞かせください。			

また、サービスをご利用されたときの職員の対応はいかがでしたか。

技術相談 ご利用時の 職員の対応 【1つだけ選択】	1	<input type="checkbox"/>	満足
	2	<input type="checkbox"/>	やや満足
	3	<input type="checkbox"/>	やや不満
	4	<input type="checkbox"/>	不満
本サービスでの職員の対応についてご意見などありましたら、具体的な感想をお聞かせください。			

・
・
・

『セミナー・講習会』について

セミナー・講習会 の 利用目的 【複数選択可】	1	<input type="checkbox"/>	トラブルの原因究明
	2	<input type="checkbox"/>	製品／製造技術の改良・開発
	3	<input type="checkbox"/>	製造コストの低減
	4	<input type="checkbox"/>	信頼性・安全性の向上
	5	<input type="checkbox"/>	人材育成
	6	<input type="checkbox"/>	専門技術情報の収集
	7	<input type="checkbox"/>	新技術分野への進出
	8	<input type="checkbox"/>	販売の促進
	9	<input type="checkbox"/>	環境対策（排水・VOCなど）
	10	<input type="checkbox"/>	省資源・省エネルギー対策
	11	<input type="checkbox"/>	その他（ ）
セミナー・講習会 の 成果達成度 及び 目的達成度 【1つだけ選択】	1	<input type="checkbox"/>	十分達成できた
	2	<input type="checkbox"/>	ある程度達成できた
	3	<input type="checkbox"/>	わずかしか達成できなかった
	4	<input type="checkbox"/>	達成できなかった
達成度が低いと感じた場合（3又は4を選択した場合）、その理由をお聞かせください。			
また、具体的な成果（派生を含めて、製品改良や事業化事例など）があれば、お聞かせください。			

また、サービスをご利用されたときの職員の対応はいかがでしたか。

セミナー・講習会 ご利用時の 職員の対応 【1つだけ選択】	1	<input type="checkbox"/>	満足
	2	<input type="checkbox"/>	やや満足
	3	<input type="checkbox"/>	やや不満
	4	<input type="checkbox"/>	不満
本サービスでの職員の対応についてご意見などありましたら、具体的な感想をお聞かせください。			

・
・
・

『オーダーメイドセミナー』について

<p>オーダーメイド セミナー の利用目的</p> <p>【複数選択可】</p>	1	<input type="checkbox"/>	製造品の評価
	2	<input type="checkbox"/>	トラブルの原因究明
	3	<input type="checkbox"/>	製品／製造技術の改良・開発
	4	<input type="checkbox"/>	製造コストの低減
	5	<input type="checkbox"/>	取引先への信頼の向上
	6	<input type="checkbox"/>	信頼性・安全性の向上
	7	<input type="checkbox"/>	人材育成
	8	<input type="checkbox"/>	専門技術情報の収集
	9	<input type="checkbox"/>	新技術分野への進出
	10	<input type="checkbox"/>	販売の促進
	11	<input type="checkbox"/>	環境対策（排水・VOCなど）
	12	<input type="checkbox"/>	省資源・省エネルギー対策
	13	<input type="checkbox"/>	その他（ ）
<p>オーダーメイド セミナー の成果達成度 及び目的達成度</p> <p>【1つだけ選択】</p>	1	<input type="checkbox"/>	十分達成できた
	2	<input type="checkbox"/>	ある程度達成できた
	3	<input type="checkbox"/>	わずかしか達成できなかった
	4	<input type="checkbox"/>	達成できなかった
<p>達成度が低いと感じた場合 （3又は4を選択した場合）、 その理由をお聞かせください。</p>			
<p>また、具体的な成果（派生を含め て、製品改良や事業化事例など） があれば、お聞かせください。</p>			

また、サービスをご利用されたときの職員の対応はいかがでしたか。

<p>オーダーメイド セミナー ご利用時の 職員の対応</p> <p>【1つだけ選択】</p>	1	<input type="checkbox"/>	満足
	2	<input type="checkbox"/>	やや満足
	3	<input type="checkbox"/>	やや不満
	4	<input type="checkbox"/>	不満
<p>本サービスでの職員の対応について ご意見などありましたら、具体的 な感想をお聞かせください。</p>			

・
・
・

『オーダーメイド開発支援』について

オーダーメイド 開発支援 の利用目的 【複数選択可】	1	<input type="checkbox"/>	品質の証明（成績証明書の取得）
	2	<input type="checkbox"/>	製造品の評価
	3	<input type="checkbox"/>	トラブルの原因究明
	4	<input type="checkbox"/>	製品／製造技術の改良・開発
	5	<input type="checkbox"/>	製造コストの低減
	6	<input type="checkbox"/>	取引先への信頼の向上
	7	<input type="checkbox"/>	信頼性・安全性の向上
	8	<input type="checkbox"/>	人材育成
	9	<input type="checkbox"/>	専門技術情報の収集
	10	<input type="checkbox"/>	新技術分野への進出
	11	<input type="checkbox"/>	販売の促進
	12	<input type="checkbox"/>	環境対策（排水・VOCなど）
	13	<input type="checkbox"/>	省資源・省エネルギー対策
	14	<input type="checkbox"/>	その他（ ）
オーダーメイド 開発支援 の成果達成度 及び目的達成度 【1つだけ選択】	1	<input type="checkbox"/>	十分達成できた
	2	<input type="checkbox"/>	ある程度達成できた
	3	<input type="checkbox"/>	わずかしか達成できなかった
	4	<input type="checkbox"/>	達成できなかった
達成度が低いと感じた場合 （3又は4を選択した場合）、 その理由をお聞かせください。			
また、具体的な成果（派生を含め て、製品改良や事業化事例など） があれば、お聞かせください。			

また、サービスをご利用されたときの職員の対応はいかがでしたか。

オーダーメイド 開発支援 ご利用時の 職員の対応 【1つだけ選択】	1	<input type="checkbox"/>	満足
	2	<input type="checkbox"/>	やや満足
	3	<input type="checkbox"/>	やや不満
	4	<input type="checkbox"/>	不満
本サービスでの職員の対応につ いてご意見などありましたら、具 体的な感想をお聞かせください。			

・
・
・

『研究発表会の参加』について

≪平成 23 年に参加された方のみお答えください≫










研究発表会参加の目的 【複数選択可】	1	<input type="checkbox"/>	品質の証明（成績証明書の取得）
	2	<input type="checkbox"/>	製造品の評価
	3	<input type="checkbox"/>	トラブルの原因究明
	4	<input type="checkbox"/>	製品／製造技術の改良・開発
	5	<input type="checkbox"/>	製造コストの低減
	6	<input type="checkbox"/>	取引先への信頼の向上
	7	<input type="checkbox"/>	信頼性・安全性の向上
	8	<input type="checkbox"/>	人材育成
	9	<input type="checkbox"/>	専門技術情報の収集
	10	<input type="checkbox"/>	新技術分野への進出
	11	<input type="checkbox"/>	販売の促進
	12	<input type="checkbox"/>	環境対策（排水・VOCなど）
	13	<input type="checkbox"/>	省資源・省エネルギー対策
	14	<input type="checkbox"/>	その他（ ）
研究発表会参加の目的達成度 【1つだけ選択】	1	<input type="checkbox"/>	十分達成できた
	2	<input type="checkbox"/>	ある程度達成できた
	3	<input type="checkbox"/>	わずかしか達成できなかった
	4	<input type="checkbox"/>	達成できなかった
達成度が低いと感じた場合（3又は4を選択した場合）、その理由をお聞かせください。			
また、具体的な成果（派生を含めて、製品改良や事業化事例など）があれば、お聞かせください。			

また、サービスをご利用されたときの職員の対応はいかがでしたか。

研究発表会参加時の職員の対応 【1つだけ選択】	1	<input type="checkbox"/>	満足
	2	<input type="checkbox"/>	やや満足
	3	<input type="checkbox"/>	やや不満
	4	<input type="checkbox"/>	不満
本サービスでの職員の対応についてご意見などありましたら、具体的な感想をお聞かせください。			

(2) ご利用による経済効果について

産技研のご利用により、あなたの会社が得られたと思われるメリットを金額に換算すると、次のいずれに相当しますか。


	0～50万円	-----	1	<input type="checkbox"/>
	50万～100万円程度	-----	2	<input type="checkbox"/>
	100万～300万円程度	-----	3	<input type="checkbox"/>
	300万～500万円程度	-----	4	<input type="checkbox"/>
	500万～1,000万円程度	-----	5	<input type="checkbox"/>
	1,000万～3,000万円程度	-----	6	<input type="checkbox"/>
	3,000万～5,000万円程度	-----	7	<input type="checkbox"/>
	5,000万～1億円程度	-----	8	<input type="checkbox"/>
	1億円以上	-----	9	<input type="checkbox"/>

(1億円以上の場合、おおよその金額をご記入ください： _____ 億円くらい)


◆ 答え方のヒント ◆

金額に換算するのは容易ではないと思いますが、産技研を利用されなかった場合と比較して推定してください。例えば、次のような推定をおこなって、その金額を選んでください。


依頼試験等により、海外認証が取得でき、その製品の売上げが製品ライフで〇〇〇万円見込める。




技術相談、技術セミナー・講習会により、製品開発や規格対応における要員の知識・スキルが増加し生産性が向上した結果、〇〇〇万円の売上げ増加につながった。



試験機器を利用することができ、自前で設備投資する場合の金額〇〇〇万円のコスト削減ができた。



故障解析により、製品欠陥の真の原因が究明でき欠陥に起因する損失〇〇〇万円を回避することができた。



可能であれば、左側の事例にならって具体的な経済的効果理由をご記入ください。

(3) 他機関の利用について

産技研以外の試験研究機関等を過去1年間で利用されたことはありますか。

また、利用されたことがあるならば、そのサービスの種類は何ですか。

他機関の種類と名称 可能であれば、()内に名称をご記入ください。		利用あり 【複数選択可】		利用したサービス 【複数選択可】					
		平成 23年 10月 以前	平成 23年 10月 以降	A	B	C	D	E	F
				技術相談	依頼試験	貸し出し 機器の使用、 講習会	セミナー、 共同開発	共同開発	研究等の委託
1	他県の公設試験研究機関 ()	<input type="checkbox"/>	***	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
		***	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
2	独立行政法人、財団法人等の 試験機関 ()	<input type="checkbox"/>	***	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
		***	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
3	民間の試験研究機関 ()	<input type="checkbox"/>	***	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
		***	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
4	大学 ()	<input type="checkbox"/>	***	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
		***	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
5	その他 ()	<input type="checkbox"/>	***	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
		***	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

「他機関の利用」は、産技研の事業所（本部及び支所）の移転によって影響しましたか。

また影響した場合、どのように変化したかをお聞かせください。

産技研事業所移転による 「他機関利用」の影響 【それぞれ1つだけ選択】	1 <input type="checkbox"/>	大いに影響した	⇒	他機関利用の増減	
	2 <input type="checkbox"/>	やや影響した		ア <input type="checkbox"/>	増えた
	3 <input type="checkbox"/>	影響していない		イ <input type="checkbox"/>	変わらない
				ウ <input type="checkbox"/>	減った
影響した場合 (1又は2を選択した場合)、 具体的な変化の内容を お聞かせください。					

他機関を利用している場合は、その理由をお聞かせください。

他機関利用の理由	
----------	--

4. 今後の利用意向及び要望に関してお伺いします。

(1) 今後の利用意向及び改善すべき点について

今後も産技研をご利用いただけますか。

また、今後もご利用いただけるならば、それはどの事業（サービス）ですか。

今後の利用意向 【1つだけ選択】	1	<input type="checkbox"/>	積極的に利用したい
	2	<input type="checkbox"/>	必要のある時に利用したい
	3	<input type="checkbox"/>	今のところ利用予定は無い

利用希望サービス【複数選択可】		運営面への要望等【複数選択可】			
番号		番号			
A1	<input type="checkbox"/> 技術相談	B1	<input type="checkbox"/> 手続きの簡素化 ※		
A2	<input type="checkbox"/> 依頼試験	B2	<input type="checkbox"/> 利用時間の拡大		
A3	<input type="checkbox"/> 機器利用	B3	<input type="checkbox"/> 機器の充実		
A4	<input type="checkbox"/> セミナー・講習会	B4	<input type="checkbox"/> 職員の質向上		
A5	<input type="checkbox"/> その他人材育成 (セミナー・講習会以外)	B5	<input type="checkbox"/> 情報発信・情報公開の 拡大・拡充		
A6	<input type="checkbox"/> オーダーメイド試験	B6	<input type="checkbox"/> その他		
A7	<input type="checkbox"/> オーダーメイドセミナー	※ 新本部（青海）では、総合支援窓口を設置し、窓口一本化や複数相談への一括対応など、サービス機能の複合化を図っております。 (ワンストップサービス)			
A8	<input type="checkbox"/> オーダーメイド開発支援				
A9	<input type="checkbox"/> デザイン技術支援				
A10	<input type="checkbox"/> コーディネーター・アドバイザー事業				
A11	<input type="checkbox"/> 実施技術支援（工場訪問）				
A12	<input type="checkbox"/> 共同研究				
A13	<input type="checkbox"/> 研究発表会・産技研研究成果				
A14	<input type="checkbox"/> 技術研究会・異業種交流会				
A15	<input type="checkbox"/> 産学交流事業				
A16	<input type="checkbox"/> 製品開発支援ラボ（貸し実験室）				
A17	<input type="checkbox"/> その他				
上記で最も希望するもの（番号： ）				上記で最も希望するもの（番号： ）	
事業（サービス）面				運営面	

産技研の事業（サービス）や運営面について、
ご意見・ご要望・改善すべき点などありましたらお聞かせください。
(該当する上記番号をNo.にご記入ください)

No.	ご意見・ご要望・改善すべき点など
例) A2, B1	〇〇〇〇依頼試験での支払いの手続きをもっと簡単にしてほしい。

(2) 各事業（サービス）・分野への要望・期待について

あなたの会社において、興味・関心のある事業（サービス）・分野をお聞かせください。

また、それについて、産技研への要望や期待がありましたらお聞かせください。

①～⑯それぞれについてお答えください。

サービス・分野		興味・関心 【それぞれの1～3の中 から1つだけ選択】	産技研への要望・期待 実施して欲しい事業、導入し て欲しい機器など、ありまし たらご記入ください
区分	サービス・分野名		
新事業育成研究分野	①環境・省エネルギー 輸出製品などの環境性能評価支援とともに、省エネルギー製品の設計・開発支援を行います。	1 <input type="checkbox"/> 興味がある 2 <input type="checkbox"/> まだ分からない 3 <input type="checkbox"/> 興味がない	
	②EMC・半導体 高周波や半導体分野の新技术を応用し、競争力のある高付加価値製品の創出を支援します。	1 <input type="checkbox"/> 興味がある 2 <input type="checkbox"/> まだ分からない 3 <input type="checkbox"/> 興味がない	
	③メカトロニクス 最先端のメカトロニクス・ロボット技術を取り入れた製品の開発支援を行います。	1 <input type="checkbox"/> 興味がある 2 <input type="checkbox"/> まだ分からない 3 <input type="checkbox"/> 興味がない	
	④バイオ応用 バイオセンサー、バイオチップの研究開発・実用化を目指す企業を支援します。	1 <input type="checkbox"/> 興味がある 2 <input type="checkbox"/> まだ分からない 3 <input type="checkbox"/> 興味がない	
総合的支援機能	⑤高度分析開発セクター 高機能な設備を集中設置し、機能性材料や環境対応の製品開発を支援するとともに、製品の不具合原因の解析を行います。	1 <input type="checkbox"/> 興味がある 2 <input type="checkbox"/> まだ分からない 3 <input type="checkbox"/> 興味がない	
	⑥システムデザインセクター デザインセンターの機能と設備を強化し、システムデザインセクターとして、売れるモノづくりを支援します。	1 <input type="checkbox"/> 興味がある 2 <input type="checkbox"/> まだ分からない 3 <input type="checkbox"/> 興味がない	
	⑦実証試験セクター 温湿度、振動、腐食等の評価試験について一貫して、相談、依頼試験、機器利用ができ、安全で信頼性の高い製品開発を支援します。	1 <input type="checkbox"/> 興味がある 2 <input type="checkbox"/> まだ分からない 3 <input type="checkbox"/> 興味がない	

⇒次のページへ続きます

⇒前のページからの続きです

サービス・分野		興味・関心 【それぞれの1～3の中から1つだけ選択】		産技研への要望・期待 実施して欲しい事業、導入して欲しい機器など、ありましたらご記入ください
区分	サービス・分野名			
ブランド試験（※）	⑧「音響試験」 残響室、結合残響室、無響室、半無響室を備え、より高品質な技術支援（音響分析等）ができます。	1 <input type="checkbox"/>	興味がある	
		2 <input type="checkbox"/>	まだ分からない	
		3 <input type="checkbox"/>	興味がない	
	⑨「照明試験」 LED照明機器等の新規格対応の性能評価試験、色彩測定、配光測定ができます。	1 <input type="checkbox"/>	興味がある	
		2 <input type="checkbox"/>	まだ分からない	
		3 <input type="checkbox"/>	興味がない	
	⑩「高電圧試験」 避雷器等の高電圧試験がコンピュータ制御により高い精度で実施できます。	1 <input type="checkbox"/>	興味がある	
		2 <input type="checkbox"/>	まだ分からない	
		3 <input type="checkbox"/>	興味がない	
	⑪「非破壊透視試験」 X線透過装置により、試験品の中まで透過する非破壊検査ができます。	1 <input type="checkbox"/>	興味がある	
		2 <input type="checkbox"/>	まだ分からない	
		3 <input type="checkbox"/>	興味がない	
	⑫「ガラス技術」 高性能なガラスの開発支援及びガラスに対する特徴ある試験（破損事故解析、表面応力測定など）ができます。	1 <input type="checkbox"/>	興味がある	
		2 <input type="checkbox"/>	まだ分からない	
		3 <input type="checkbox"/>	興味がない	
国際化対応	⑬国際規格対応支援 皆様の事業の海外展開を支援するために国際規格対応支援の充実を進めています。	1 <input type="checkbox"/>	興味がある	
		2 <input type="checkbox"/>	まだ分からない	
		3 <input type="checkbox"/>	興味がない	
災害対応	⑭放射線測定 原発事故による生産品の風評被害を防ぐため、依頼に応じ放射線測定を実施しています。	1 <input type="checkbox"/>	興味がある	
		2 <input type="checkbox"/>	まだ分からない	
	⑮節電・省I補償-技術支援 震災に起因する電力使用量制限に対応するため、工場等での電力使用の「見える化」を支援しています。	1 <input type="checkbox"/>	興味がある	
		2 <input type="checkbox"/>	まだ分からない	
		3 <input type="checkbox"/>	興味がない	

※ブランド試験とは、他県公設試験研究機関ではあまり行われていない、産技研ならではの試験のことです。

5. あなたの会社及びあなた自身についてお伺いします。

(1) あなたの会社について

a) 研究開発費について

あなたの会社の「売上高に対する研究開発費の割合」に関してお答えください。

売上高に対する 研究開発費の割合 【1つだけ選択】	1	<input type="checkbox"/>	1%未満
	2	<input type="checkbox"/>	1%以上～3%未満
	3	<input type="checkbox"/>	3%以上～5%未満
	4	<input type="checkbox"/>	5%以上

(2) あなた自身及び会社の登録情報について

a) あなたの姓名及び会社の登録情報は、「アンケートへのお願い」ページに記載したとおりです。間違い又は変更があれば、正しい情報を記入してください。

お名前	読み(ひらがな)		
	漢字又は英字等		
会社名			
所在地	〒		
所属名			
電話番号		FAX番号	

b) あなたの職位と職種に関してお答えください。

職位	1	<input type="checkbox"/>	経営者・役員													
	2	<input type="checkbox"/>	従業員 <職種もお選びください>													
	職種	1	<input type="checkbox"/>	管理												
		2	<input type="checkbox"/>	技術 <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <tr> <td>ア</td> <td><input type="checkbox"/></td> <td>研究開発</td> </tr> <tr> <td>イ</td> <td><input type="checkbox"/></td> <td>設計・開発</td> </tr> <tr> <td>ウ</td> <td><input type="checkbox"/></td> <td>製造技術</td> </tr> <tr> <td>エ</td> <td><input type="checkbox"/></td> <td>製造</td> </tr> </table>	ア	<input type="checkbox"/>	研究開発	イ	<input type="checkbox"/>	設計・開発	ウ	<input type="checkbox"/>	製造技術	エ	<input type="checkbox"/>	製造
		ア	<input type="checkbox"/>	研究開発												
		イ	<input type="checkbox"/>	設計・開発												
		ウ	<input type="checkbox"/>	製造技術												
		エ	<input type="checkbox"/>	製造												
		3	<input type="checkbox"/>	サービス・カスタマーサポート												
		4	<input type="checkbox"/>	営業												
5	<input type="checkbox"/>	企画														
6	<input type="checkbox"/>	広報														
7	<input type="checkbox"/>	事務														
8	<input type="checkbox"/>	その他 ()														

6. 自由記入欄

全般的なご意見、ご要望などを自由にご記入ください。

登録番号・23（西）35

平成23年 都産技研の利用に関する調査 アウトカム評価報告書

平成24年 4月発行

発行 地方独立行政法人東京都立産業技術研究センター
〒135-0064 東京都江東区青海2-4-10
TEL：03-5530-2111（代表）
FAX：03-5530-2765
URL <http://www.iri-tokyo.jp/>

